

大正女医の動向

福嶋 正和¹⁾, 藤田 慧子²⁾

¹⁾ 東葛医療福祉センター・光陽園

²⁾ ふじた医院

受付：平成27年6月3日／受理：平成28年7月22日

要旨：筆者は大正元年～10年の官報に記載された医籍登録より女医をピックアップし、生年、本籍地、出身校、登録年月、登録番号、父親の職業、夫の職業（家族構成）、医療活動地等について調査した。明治18年荻野吟子の医籍登録以降、明治45年までの28年間に年平均8.5名の女性が医籍登録されているが、大正期15年間に年平均73.6名と飛躍的に増加している。活動地では大正年間には、研修医療施設が大都市に集中傾向があるため東京、大阪等で研修する女医が多い。その後の活動地は地域（本籍地等）に拡大している。父親が医師で姉妹ばかり等の家庭事情では医学志望の動機は自ら医家継承あるいは父親の勧奨を挙げている。関東大震災による被害については自ら、患者や職員・身内共々殉職したものなど悲惨を極めたが、関東大震災については別稿に譲りたい。

キーワード：大正女医、日本女医会雑誌、官報、医籍登録、関東大震災

三崎裕子氏によれば明治女医（明治期に医籍登録し医師資格を取得した女性医師）は239名である¹⁾。筆者は偶々10年ほど前に文化座公演「ほにほに、おなご医者」の舞台を鑑賞しその主人公「志賀ミエ」（舞台での主人公名は久賀たえ）が実在の明治女医であり、同女医の出身地（本籍地）が岩手県胆沢郡金ヶ崎村（現在の金ヶ崎町）であることを知った。その後、同女医の足跡を辿るため同地を数回に亘って訪問し同女医の子孫等から同女医に関する資料の提供を受け、文献等調べて「岩手県金ヶ崎町（城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区）より輩出せる明治女医2名²⁾」を日本医史学雑誌に上梓した。更に明治女医に続いて大正女医の動向に興味を持ち、三崎裕子氏の了解を得て大正女医を官報の医籍登録からピックアップし、日本女医会雑誌、女医界、日本医籍録等を参照しつつ調査した。本論文においても大正女医は「大正期に医籍登録し医師資格を取得した女性医師」（三崎裕子氏¹⁾の明治女医の定義付けに倣って）と定義することを前提としたい³⁾。大正時代は明治と昭和に挟まれた比較的短い時代で

あるが、女性が活躍し⁴⁾、社会進出した⁵⁾時代である。それに伴って大正女医の医籍登録数も顕著に増加し職業婦人として社会的地位を確立した。医術開業試験が“医師試験”となるのは大正5年、受験不要になるのは大正10年なので、そこで医師試験の受験不要に伴い、東京女子医学専門学校卒業が医籍登録の要件となる大正10年末までの大正女医を調査対象とした⁶⁾。

筆者は出来るだけ大正女医の人生を浮き彫りにするため、昭和15年まで活動地を調べ、女医になる前の家庭環境（父親の職業）、医籍登録後の家庭環境（夫の職業、家族関係等）、本人の趣味等も併せて調査し、最後に関東大震災にも一言触れておいた。

本論を進めるに当たって大正期と昭和2年の医師総数と女性医師数について公表された数値に触れておきたい。医制百年史（資料編）⁷⁾では、明治17年～昭和28年に亘って学歴別（大学卒業、官公私立医専卒、試験及第等）に医師数を算定している。それによると、医師総数は明治期には大凡4万弱（明治44年には38,824名）で推移して

いたが、大正期に入って4万を超えて漸次増加傾向(大正2年では41,450名, 昭和2年では, 47,108名)で推移していた。衛生局年報(昭和2年版)⁸⁾では、大正7年~昭和2年における全国の医師総数のうち女性医師数に*印を付けて表示している。*印を総計すると昭和2年の女性医師数は1,026名である。この数値には統計から脱漏した女性医師等もあろうと思われるので、必ずしも正確な数ではない。しかし、大正末~昭和初期においては全医師のうち女性医師は約2%に過ぎず、社会的信頼を得るにはまだ少数派である。しかし、現在の全医師の3割を超える女性医師の活躍の礎となったものとして大正女医の活躍を評価したい。

官報に掲載された女性医師(女医)を表1(後掲)に示した。三崎裕子氏の「明治女医の基礎資料」に準拠して表1を作成したが、記載事項等は下記の通りである。

凡 例

① 氏名：官報の医籍登録と多川名簿⁹⁾を照合し、官報の医籍登録を登録日時順に並べたものである(同日登録の場合は登録番号順)。女医名はカタカナ表記、ひらがな表記、漢字表記、子の有無等様々であるが、今回は官報の表記を優先的に採用した。官報には記載あるが多川名簿には無いものには△印を付記した。新姓と旧姓が判っている場合は新姓で表記し旧姓は括弧内に示した。また改名している場合は名前の後に(改)と記載した。表1では医籍登録番号を確認した大正女医を表示したもので大正元年~10年までの大正女医の医籍登録数は467名である。一方、医師試験等で合格したことは確認されているが、登録番号が同定できなかった者が8名ありそれを表2(後掲)にまとめた(表1と表2を合算して475名)。官報の医籍登録は登録番号順に表示されているので、その中から女性だけをピックアップすれば、正確な大正女医数となる筈であるが、それを確定することは簡単ではない。

② 生年：日本医籍録¹⁰⁾に記載されている生年を記載し日本女医会雑誌のアンケート^{11,12)}等も参

照した。Mは明治を意味し、西暦は括弧内に示した。例えば、明治20年はM20(1887)と表記した。

③ 本籍地：官報の医籍登録には医籍登録者全てに本籍地が記載されており、多川名簿の本籍地と照合して表記した。官報と多川名簿の本籍地が異なる場合は官報の本籍地を優先し、多川名簿の本籍地を括弧内に示した。更に大正14年第一版、大正15年第二版、昭和5年版、昭和11年版等の日本医籍録を照合して官報の本籍地と異なる場合も括弧内に日本医籍録の本籍地を記載した。

④ 出身校：明治時代には東京では女子が就学できる医学校は10校ほど数えた¹⁾が、明治末期~大正にかけて学校の統廃合、済生学舎における女子の入学停止¹⁾等があり、私立日本医学校、私立東京医学校(大正5年設立の東京医学講習所は東京医学専門学校——現東京医科大学——の前身であり、“私立東京医学校”とは異なる)、吉岡弥生の東京女子医(専門学校)の3校に限定された。その後、私立日本医学校は私立東京医学校を合併し、大正6年に財団法人日本医学専門学校が文部省より認可された。しかし、専門学校昇格を契機に女子学生の募集は停止された。それにより女医への道は東京女子医学校における医学の勉学、更に医術開業試験(大正5年より医師試験に移行)の合格を目標にした厳しい苦学を余儀なくされた。東京女子医学校は明治45年3月に専門学校として認可され、その東京女子医学専門学校は大正9年11月より文部省の認可を得て卒業者は無試験で医籍登録することができた。大正9年の東女医専卒業で無試験・医籍登録したのは93名でそれ以後も100名前後が無試験・医籍登録されている¹³⁾。

日本医学校…日医、東京医学校…東医、東京女子医学校…東女医、但し、文部省認可後は大正9年11月以降の卒業生は無試験で医籍登録可能となったため東京女子医学専門学校(東女医専)として区別した。

⑤ 医籍登録年月および医籍登録番号：医師試験及第あるいは文部省認可医学専門学校卒業者は地元あるいは本籍地官庁(道府県)に申請して医籍登録される。それに伴ってそれぞれの登録申請

者に医籍登録番号（大正期には5桁の番号）が付与される。大正をTで略記し、例えば大正5年（1916）7月をT05（1916）07と表記した。なお試験及第したことは判明しているが、医籍登録の月日は不明な者については及第した年度の末に合格を付けて表2に纏めた。例えば、大正5年に及第した者は「T05（1916）合格」と略記した。

⑥ 専門分野：個別的には複数の専門分野を標榜している女医が多いため、専門分野の複数選択を可とした。専門分野の確認についても日本医籍録や日本女医会雑誌の会員名簿・会員の動静等に依拠している。専門分野も次のように略記した。

内科…内，産婦人科…産婦科，小児科…児科，耳鼻咽喉科…耳科，皮膚科…皮科，花柳病科…花科，外科…外 等

⑦ 大正女医の活動状況：「大正年間」，「昭和5年」，「昭和10年」ならびに「昭和15年」の4時期における各女医の大凡の活動地あるいは活動医療機関を示した。これらは日本女医会雑誌の会員の動静や会員名簿に依拠する点が大きいが、日本医籍録に記載された経歴も照合した。

活動地については、当時の道府県、市・郡単位で表記できたが一部の村・町では表記できないところもあった。東京、大阪等大都市にも区単位で表記するように努めたが地域名変更等の事由により一部で表記できないところもあった。

活動状況については、医籍登録直後あるいは開業後の研究活動には（研）、他医療機関に勤務中の者には（勤）、開業していることが判明している者には（開）と記した。ここでも大正をT、昭和をS、平成をHと略記した。また年をYと表記し、例えば「3年勤務」を（3Y勤）と表記した。

⑧ 父親の職業、夫の職業、家族関係等：これらはプライバシーの保護の観点から慎重に対応する必要があるが、すでに100年に近い日時が経過し関係者は故人となられていること、医籍録等の掲載事項、アンケートは本人が自ら公表したものであることなどを勘案して掲出した。父親、夫、子供たち等家族の状況が女医活動や本人のQOLの促進に関わっている。日本女医会雑誌のアンケートを参考にして医学志望の動機、女医としての感

想等、本人の生の声・本音を知ることができた。

考 察

表1について若干の私見を交えて考察し、「明治女医の基礎資料」¹⁾と比較・検討した。

明治18年～大正15年における女医の医籍登録数の推移（図1）

明治18年～45年の医籍登録数（明治女医数）は前述のように239名である（官報に掲載されていない2名を加えると241名）。明治女医の年間平均医籍登録数（明治18年～45年7月）は8.5名に過ぎないが、医籍登録数は順次少しずつ増加し、明治43年の女子医籍登録者は16名、明治44年のそれは41名、明治45年（同年7月30日まで）のそれは16名と伸ばしている。一方、大正元年～15年の医籍登録者（大正女医）は筆者の概算では1,007名に急増し、大正女医数の年平均67.1名に達している。しかし、大正末期～昭和初期における現役女医（廃業者、死亡者等を除く）はまだ少数派であり、男性医師から女性医師に対する差別的言動、愚弄、いやがらせ等があったとの報告が認められる^{11,12)}。当時の男尊女卑の風潮が残っている証左であろう。図1では、とりわけ大正10年頃からの大正女医の増加が顕著であるが、大正12年は78名とやや減少しているのは同年9月1日の関東大震災の影響により9月以降3か月間には大正女医が登録されていないためであろう。大正13年には大正12年に登録できなかった者が殺到したため、大正13年の女医・医籍登録数は140名と大正期のうちで最多に達している。

医籍登録時の年齢（図2）

官報の医籍登録や多川名簿をみても各女医の生年が記載されていないため、医籍登録時の年齢を同定できなかった。そこで、生年を日本医籍録（大正14・15年版、昭和5年版、昭和11年版等）および日本女医会雑誌のアンケート等に準拠して生年を確定できた大正女医について医籍登録時の年齢を算出した。大正元年～10年における医籍登録女医総数475名（表1と表2を合わせて）中、

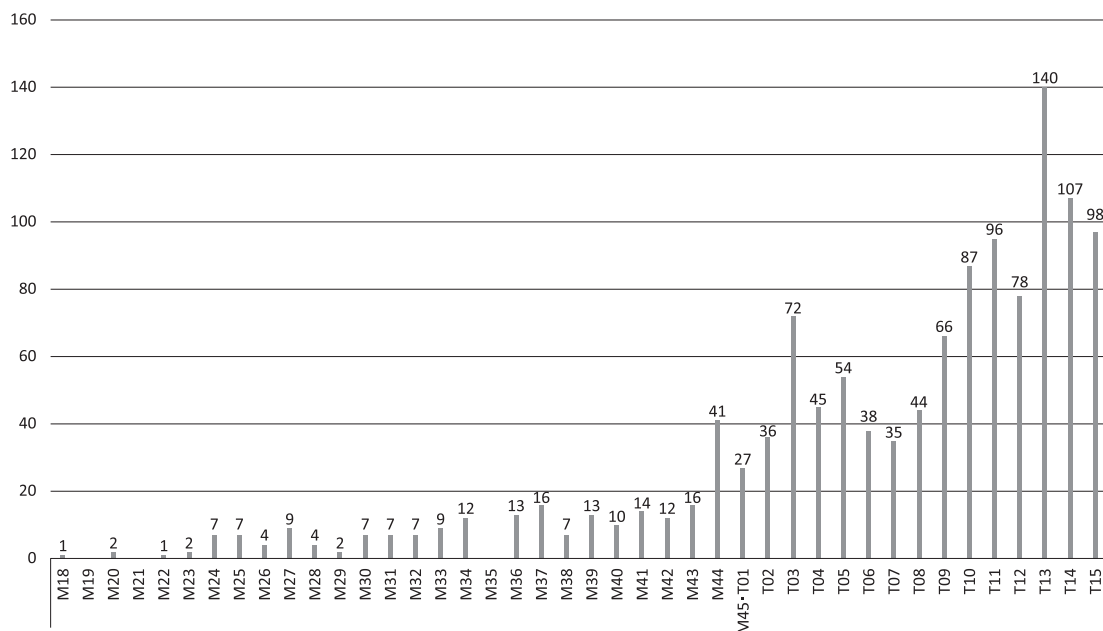


図1 明治・大正期における女子の医籍登録者数の推移

医籍登録時の年齢を確定できたのは314名(66.1%)であった。

図2から医籍登録時年齢で最も多いのは23歳(48名)であり、平均医籍登録時年齢は24.6歳であった。最も若い年齢は18歳と19歳がそれぞれ1名ずつ、20歳も6名あり、学業に優れた少壮女医の存在を知ることができる。一方、最高齢者は43歳であり、医師を志望したときの年齢も高かったのか諸々の家庭事情に基づいたのか定かではないが、いずれにしても医学の情報も乏しい中で苦学を余儀なくされた実態があったと推測される。

このデータは明治女医と比較してやや若い、「明治女医の基礎資料」(明治女医の平均医籍登録時年齢:26.0歳および医籍登録時年齢の分布状態)とほぼ同様の傾向を示している。

出身医学校(図3)

大正期は既述のように(「凡例④出身校」を参照されたし)女医志望の学び舎として大正6年頃から東女医が唯一の女子医学校となった。大正9年からは医学専門学校として文部省の認可するところとなり無試験で医籍録に登録されることになった。そのため、出身医学校としては、大正初

期に女子学生を受け入れただけの日医76名、東医9名であったのと比較して、東女医専(文部省認可で無試験・医籍登録、大正9年11月~10年)96名と圧倒的多数を占めた¹³⁾。一方、独学で苦学を余儀なくされて試験及第した大正女医が79名に達したことが注目される。

明治女医の中には外国医学校出身者が7名認められた¹⁶⁾が、大正女医の中には外国医学校出身者は認められなかった(外国人のための医師試験合格者は認められたが、今回は大正女医の対象から除外した)。大正女医のうち、卒業後に朝鮮、台湾、ビルマ(現在のミャンマー)、米国等に留学し、外国で開業・勤務する女医(後述)も認められる。

専門分野(図4)

女医の選択した専門分野は小児科、内科、産婦人科の3科が多くを占めたが、眼科、耳鼻咽喉科を標榜する女医も少なくないことを示している。男性医師の多くが標榜するであろう外科系(特に外科、整形外科)を専門とする女医はごく少数であった。各科を広く習得して総合医(現在で言う

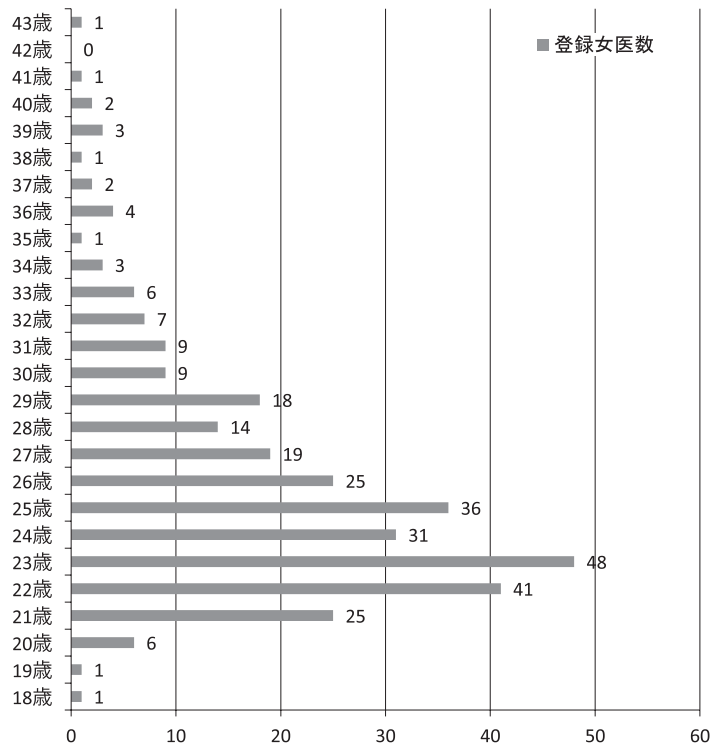


図2 大正女医の医籍登録時年齢

ドクターG)を標榜した女医は5名に過ぎなかった。しかし、専門分野の不明な女医の多くは過疎地域で開業していたので、患者の様々な訴えに対応すべく実際は総合医として業務した女医が可成り多いのではないかと想定される。

活動地 (表3 後掲)

表3は、大正年間、昭和5年、昭和10年、昭和15年における活動地について確認できる範囲内で道府県別かつ国別に調査したものである。大正年間においては医師免許を得た直後であるため、研修の機会を求めて大都会（特に東京）に集中した。道府県別に見ると大正年間では東京、大阪、兵庫（神戸を含む）、京都、神奈川（横浜を含む）、愛知の順序に研修を求める女性医師が多かったが、神戸には女医を受容する素地が残っていたと思われる¹⁾。特に明治女医における明治期の東京集中化よりも大正女医における大正期のそれがさらに顕著であることが注目される。昭和5～15年においてもなお東京に集中する傾向は認

められるが、大正女医は大正年間の東京集中のほぼ1/3に減少している（表3に示す通り、大正年間には東京に224名が集中しているが、昭和初期から昭和15年になると70台と東京集中が緩和されている）。大正年間に大都市で研修を終えた大正女医は昭和になって本籍地等の全国地方に拡がっている。それらの女医のうちで異彩を放つのは、ハンセン病の医療福祉に貢献したキリスト教徒・服部ケサ^{14,15)}の存在（表1の96）である。

大正女医の中には朝鮮、中国、更には米国、ビルマ（現在のミャンマー）へと海外に足跡を残した者が若干名認められる。その中には、ビルマの総合病院に十数年に亘って福祉・医療の両面で貢献した福島（依田）まつの（表1の74）・宮地（菅野）國栄（同92）ら、渡米し米国医師試験に合格しシアトルで開業し昭和6年に医学博士（女医で2番目）の学位を授与された井出（真柄）ひろ^{16,17)}（同335）、大正12年に加州大で細菌学を研究しドイツで学位を授与された大橋（吉原）リュフ¹⁸⁾（同425）等の国際的活動がある。

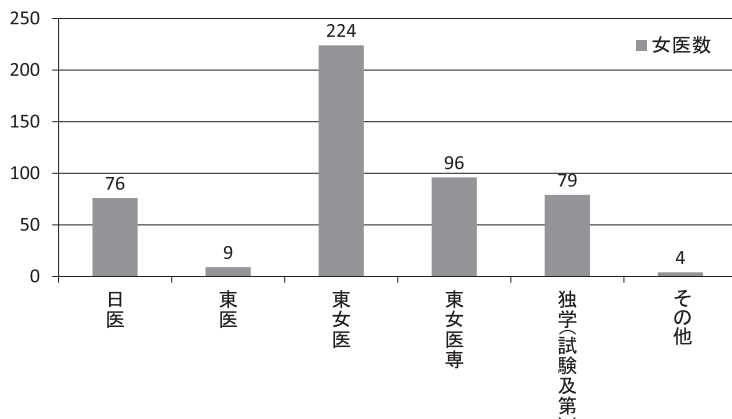


図3 大正女医の出身医学校（大正元年～10年）

日医：日本医学校，東医：東京医学校，東女医：東京女医学校，東女医専：東女医が文部省の指定を受け、卒業生が無試験で医師登録可となったもの。女医の中に複数の出身医学校を持つ者あり。

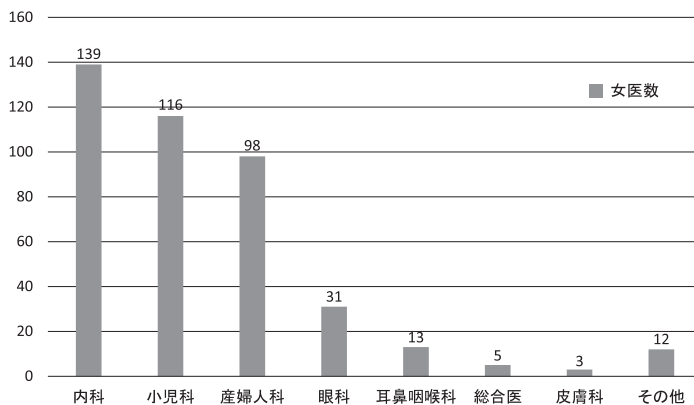


図4 大正女医（大正元年～10年医籍登録）の専門分野

父親の職業

子供の成長，育成にとって父親の影響は大きい。特に医学を志す子供にとって父親が医師であることは重要な促進因子であろう。父親の職業については日本女医会から会員に送付されたアンケートの返答に依拠している^{11,12)}。父親の職業について回答した女医会々員は38名に過ぎないので，その結果だけから結論付けることはやや早計であろう。

女医38名について父親の職業が医師であったのは16名(42.1%)であり，父親の背中を見て育ち父親の生き様に共感した子供は自分の意志であるいは父親に勧められて医学を志望したものと思われる。父親が医師である女医の医学志望の動

機をアンケート回答から探してみよう。例えば，H.K.は「きょうだい7名の男子1名だけであり，その男子が虚弱の故父は次女たる姉に医学を志すべく勧められしも他に縁付きしたため三女なる自分は(中略)進んで医学の道を志しぬ¹¹⁾と記載している。またF.K.は「弟一人ありしかど死亡，他に父業をつぐものなく(中略)女でも医者になれると思って一奮発せり¹¹⁾，A.K.は「生家が医業なるためか幼少より医学修業の念慮あり嫁せし後3子設けしと雖も夫の了解を得て東京医学校にて修学せり¹¹⁾とある。O.S.は「きょうだい5人中次女にして男児は3番目なるため万に備えんがため父の勧誘による¹²⁾，N.K.は「父早世し弟幼少なりし為家業を中継しようと云々¹²⁾とあ

る。これらの5例はいずれも自分の意志であるいは父親に勧められて医学を志望し医家を継承しようとした。

次に多いのは農業が9例（23.7%）であった。F.T.は「女学校卒業半年前より志す、3年間、女医学校にて勉強せしも老父母の将来を案じて婚約し無理帰郷後1年半、婚後独学し素志を貫徹したる次第、その間に妊娠、分娩ありて苦心せり」¹¹⁾と記載している。H.T.は「親族の医師の勧めにより教員志望より医学志望に変更す」¹¹⁾、S.A.は「自分の幼き時母が病気に苦しみ居りしたため病になやむ人々のため云々」¹¹⁾、H.T.は「幼少の頃身体虚弱（中略）もし我が健康体となりて人の診療あたるを得ばこれに勝る幸福はあらざるべし云々」¹²⁾とある。生家が農家であった女医はS.A.やH.T.（後者）のように幼少時より身体虚弱になやみ、医学志望で病者に役立ちたいとの人生設計が認められるが、数少ない中では生家が農家である女医の人生設計と結論するには無理がある。

総数38名の数少ない医家出身の女医と農家出身の女医との医学志望の動機には差異があるように思われる。医家出身の女医には医家を何とか継承させたいとの願望が強い傾向があり、農家出身の女医には身内や他者の幸福に役立ちたいとの自己犠牲的動機が垣間見られるように思われる。いずれにしても総数が少ない中では統計的意味は少ないであろう。

夫の職業、家族関係

大正女医の夫の職業については49名のアンケート回答が得られた。そのうち、医師が33名（67.3%）を占めているが、それには東京女子医学専門学校（東女医専）校長・創始者の吉岡弥生が事あるごとに女医は医師と結婚すべきことを記述していることが女医の背中を押したものと思われる。医師と結婚することで「相助け理解が深くなりまして、女医の方も夫と共同して、事業を続けてゆける事が出来ます」¹⁹⁾というのが同業者（医師）との結婚を推奨する理由である。医師との結婚以外には独身5名であり、その他（歯科医、官吏、軍人等）は少数に留まっている。

家族関係については子供ありと答えた女医は14名（その他の女医全てに子供がいなかどうかは不明）であった。子供の数は1名～7名まで区々様々であったが、雇人（女中3名）を雇っている女医（表1の30）は1名に過ぎず、子供7名と記述した女医（同270）は「7名のうち4名は姉の遺児」とのことであった。その他、4名の養子を育てている女医（同121）1名があったことが注目される。これらのことを総合して女医としての活動以外に女医は妻、母（育児）、夫の協力者等として大車輪の活動があったようだ²⁰⁾。

趣味（図5）

人生を充実させる因子の一つとして趣味が挙げられるため、大正女医の趣味について調査した。趣味の調査（複数選択可）は日本医籍録や日本女医会からのアンケート等（いずれも本人の申し立てによる）に依拠していた。大正女医のうち113名の趣味を調査することができた。そのうち、読書が最も多く61名（54.0%）、続いて音楽（洋楽）が29名（25.7%）、生け花が19名（16.8%）等が主たるものであった。更に女性の定番趣味の文芸（和歌、俳句等）、園芸、邦楽、演劇、手芸、茶道等で人生を楽しんでいる様子が見られる。大正女医はかなり多忙であった²⁰⁾ため、忙中閑で趣味を楽しんでいたようであったが、旅行等に数日の時間をかけることは困難であった。

関東大震災と明治・大正女医^{21,22)}

関東大震災は東京首都圏を中心として南関東から東海地域に及ぶ広範かつ甚大な被害を被り、明治・大正女医の人生に及ぼした被害の影響は筆紙に尽くしがたいものであった。これについては紙幅の都合もあり本論では省略し、近いうちに「関東大震災と明治・大正女医」と題して別稿を起こしたい。

まとめ

大正時代は様々な分野で職業婦人として女性が社会進出した時代である。そこで筆者は大正女医の動向を明治女医のそれと比較しつつ纏めてみた。

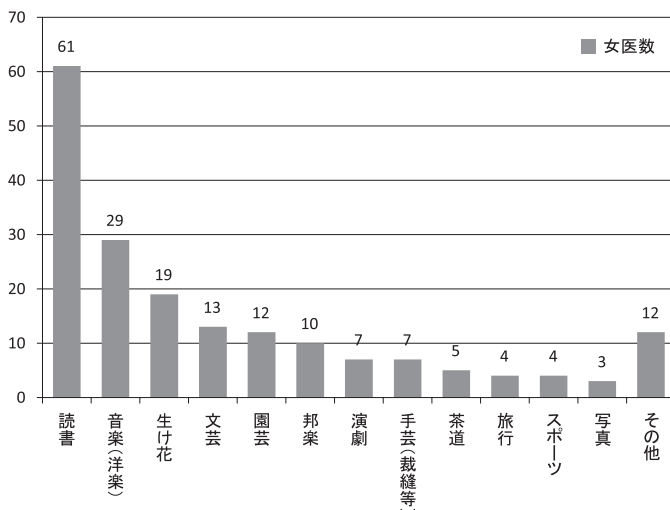


図5 大正女医の趣味等

註：趣味に関しては大正元～15年登録の女医を対象とした（n=113）。複数の趣味選択可。

① 明治18年に荻野吟子の医籍登録以後、明治45年までに明治時代の女性239名が医籍登録され、大正時代の15年間に急速に伸びて筆者の概算では大正時代の女性1,105名が医籍登録された。その伸長因子として明治女医の活躍、吉岡弥生の東京女子医学専門学校の発展、女性の職業意識向上等に触発されたことが挙げられる。

② 大正女医が医籍登録後に大正年間から昭和15年までの活動地を調査したところ、東京、大阪、神戸等大都市に集中している。明治女医と比較しても医籍登録後に研修施設を求めて特に東京集中が顕著である。しかし、昭和になって研修から実践の場になって女医の活動の場は本籍地等地方に拡げている。これらの女医の動向は明治と大正とで東京集中以外では大差はない。また、朝鮮、中国、米国、ビルマ（現在のミャンマー）等の外国に活動の場を拡げた女医も認められる。

③ 父親の職業については、医師が40%強であり、父親の生き様に共感して育ち、しかも兄や弟が居ないため自ら率先して医業を継承した女医が多かった。次いで家業が農業であったのが24%であった。それらの女性の医学志望の動機付けは親あるいは自らが病気がちで苦勞したことに影響され、人の幸福に役に立ちたいとの自己犠牲的動機が認められた。

④ 大正女医の配偶者は67%が医師であったが、それは東京女子医学専門学校の吉岡弥生が事あるごとに「女医は医師と結婚すべき」と吹聴していることに関連しているであろう。家族として子供は1～7名であり、育児に没頭しているが、夫の協力を得て医業もこなしているとのことであった。

⑤ 女医の趣味（複数選択可）については読書が54%、音楽が26%、生け花が17%等が主たるものであった。多忙な中でも趣味を楽しんでいる様子であったが、数日以上にわたる旅行を楽しむことは困難とのことであった。

⑥ 関東大震災に被災した女医については既記したように別稿に譲りたい。

謝 辞

本稿作成に当たって、東京女子医大史料室、国立国会図書館、千葉県立西部図書館、我孫子市民図書館等の職員の方々からいろいろご教示をいただいた。稿を終えるに当たって深謝いたしたい。また三崎裕子氏の先進的業績から示唆を得たことに敬意を表するものである。

表1 大正女医（大正元年～10年）の動向

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家系関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930)年 | S10 (1935)年 | S15 (1940)年 | 趣味等 |
|--------------|------------|--------|-------|--------|---------------|-------|--|-------|--|--------------------|----------------|--------------------|--------|
| 1 吉田八重野 | M19 (1886) | 京都 | | | T01 (1912) 08 | 30413 | 愛国婦人会見院、香雲堂医院、神戸烏島病院に勤務、後にT05京都府下船井郡(開) | 内児産婦科 | 愛国婦人会見院、香雲堂医院、神戸烏島病院に勤務、後にT05京都府下船井郡(開) | 京都府下船井郡(開) | 京都府下船井郡(開) | 京都府船井郡(開)、S16死亡 | 育児法研究 |
| 2 雑賀(稲田)ヲトワ | M20 (1887) | 山口 | | 東女医 | T01 (1912) 08 | 30414 | 試験及第、朝鮮總督府(勤)、T05下関(開) | 産婦科 | 試験及第、朝鮮總督府(勤)、T05下関(開) | 山口県豊浦郡豊東村(開) | 下関市彦島本町(開) | | 骨董 |
| 3 小倉セン | | 大阪 | | | T01 (1912) 08 | 30423 | | | | | | | |
| 4 西崎(土肥)ユキノ | M18 (1885) | 大阪 | | | T01 (1912) 08 | 30470 | M45 試験及第後、岡山・鳥村眼科病院(勤)、T05 大阪市中央本町(開)、T08 高陽村転居(開、眼科再開)、神戸・三浦病院(勤) | 眼科 | M45 試験及第後、岡山・鳥村眼科病院(勤)、T05 大阪市中央本町(開)、T08 高陽村転居(開、眼科再開)、神戸・三浦病院(勤) | 不詳 | 不詳 | | 俳句 |
| 5 堀(松本)キヌ | M24 (1891) | 奈良 | | 日医 | T01 (1912) 09 | 30491 | | | | | | | |
| 6 花岡しげ枝 | M24 (1891) | 長野 | | 日医 | T01 (1912) 09 | 30550 | 医師(内児科) | | T01 試験及第 | | | | |
| 7 岩佐りん | | 愛知 | | 東女医 | T01 (1912) 10 | 30588 | | | 救世軍病院(勤) | 救世軍病院(勤) | 救世軍病院(勤) | 救世軍病院(勤) | 宗教、読書 |
| 8 田坂ミト△ | M06 (1873) | 広島 | | 日医 | T01 (1912) 10 | 30654 | | 内児科 | T05 広島市外三条町(開) | 広島市外三条町(開) | 広島市外三条町(開) | | |
| 9 新武たみ | M19 (1886) | 宮城 | | 東医、日医 | T01 (1912) 11 | 30837 | | | T01 青見会病院・和泉橋病院(勤)、T05 大阪総方病院(勤)、T08 渡辺遊学、T12 福岡、大阪市勝山通(開) | 大阪市天王寺区勝山通(開) | 大阪市天王寺区勝山通(開) | 大阪市天王寺区勝山通(開) | |
| 10 初田 初 | M07 (1874) | 滋賀 | | 日医、東医 | T01 (1912) 12 | 31116 | 医師(内児産婦科) | 産婦内児科 | 京都佐伯病院産婦科、京大病院(勤)、T02 滋賀県滋賀郡石山村(開) | 滋賀郡滋賀郡石山村(開) | 滋賀郡滋賀郡石山村(開) | 滋賀県滋賀郡石山村(開) | 生け花、茶道 |
| 11 青山はぎを | M20 (1887) | 福井 | | 東女医 | T01 (1912) 12 | 31220 | | 内児科 | 東京至誠病院・鶴江十番病院・県立福井病院・三井養老病院等(勤)、T04 福井県酒生村(開) | 福井県足羽郡酒生村(開) | 福井県足羽郡酒生村(開) | 福井県足羽郡酒生村(開) | |
| 12 五味俊子 | M23 (1890) | 山梨 | | 日医 | T02 (1913) 01 | 31273 | | 内科 | T01 試験及第、東京聖天堂医院・山梨県病院・香雲堂医院(勤)、山梨県藤田村(開) | 山梨県中巨摩郡藤田村(開) | 山梨県中巨摩郡藤田村(開) | 山梨県中巨摩郡藤田村(開) | 読書 |
| 13 沼尻みね | | 茨城 | | 日医 | T02 (1913) 02 | 31543 | | | T03 死亡(詳細不明) | | | | |
| 14 横田サト | | 福岡 | | 東女医 | T02 (1913) 02 | 31572 | | | 福岡県山口村(開?) | | | | |
| 15 上田シヅ | | 奈良 | | 東女医、日医 | T02 (1913) 03 | 31634 | 医師(外科) | 胃腸内科 | 福岡県内幸町胃腸病院(勤)、朝鮮甲山郡久原会社内(開?) | | | | |
| 16 桓光(指田)ヤクエ | | 兵庫 | | 日医 | T02 (1913) 03 | 31712 | | | | S04 大分県北海郡佐賀町(開?) | | | 旅行、草花 |
| 17 早川みつえ | | 熊本 | | | T02 (1913) 04 | 31833 | | | 大阪市南区桜木病院(勤)、久留米市外島崎村(開) | 不詳 | | | |
| 18 鈴木ノブ | M17 (1884) | 新潟 | | 日医 | T02 (1913) 04 | 31839 | | 眼科 | T02 試験及第、大阪市南区済生会病院(勤) | 大阪市南区済生会病院(勤) | 大阪市南区済生会病院(勤) | 長岡市日赤病院眼科 | |
| 19 瀬木せき | M15 (1882) | 愛知(三重) | 実業家 | | T02 (1913) 04 | 31860 | 眼科医、子供4名 | 眼科 | 文部省国語漢文科試験合格、夫吹州留字中銀字医師試験合格、名古屋市小島町・眼科医(開) | 名古屋市中区門前町(開、中区門前町) | 同市小島町(開、中区門前町) | 名古屋市中区門前町(開) | 文学 |
| 20 北見(林)トミノ | | 福島 | | 日医 | T02 (1913) 04 | 31890 | | 産婦科 | 静岡県青野、本郷区勤坂中 | 不詳 | 不詳 | 東京市小石川区大塚病院産婦人科(勤) | |
| 21 白木(吉田)ヨシ | | 神奈川 | | 東女医 | T02 (1913) 04 | 31924 | | | 東京至誠病院、大連市越後町、T09 兵庫県武庫郡住吉村、後に神戸市荏合町(開?) | | | | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家族関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930)年 | S10 (1935)年 | S15 (1940)年 | 趣味等 |
|------------------|------------|--------|-------|--------|---------------|-------|-------------------------------|-----------|---|----------------------------------|----------------|-----------------|-------|
| 22 若宮(清淵) 猪久(猪丸) | | 高知 | | 日医 | T02 (1913) 04 | 31933 | | | 東京・東大久松、下目黒、T14 東京・在原郡池上村(開) | 東京市大森区池上町(市合併・開) | 詳細不明 | | |
| 23 長島しで | M26 (1893) | 富山 | 農業 | 東医、日医 | T02 (1913) 05 | 31998 | | 内科 | T01 試験及第、T05 より神奈川県高座郡栗川皆川病院(勤) | 東京・蒲田区蒲田(開) | 詳細不明 | | 音楽 |
| 24 町田チセ(改よし子) | | 栃木 | | 日医 | T02 (1913) 06 | 32122 | | | 東京・日暮里、浅草区馬道(開?) | 不詳 | | | |
| 25 藤田(室住) 小冬 | | 徳島 | 医師 | 東女医 | T02 (1913) 06 | 32128 | | 兒科 | 東京至誠病院兒科(研)、日赤唱歌山支部病院兒科(勤) | 日赤唱歌山支部病院兒科(勤)、S04 徳島県名東郡加茂名村(開) | 徳島県名東郡加茂名村(開) | 徳島県名東郡国府町移転(開) | |
| 26 田中こう | M19 (1886) | 兵庫 | | 東医、日医 | T02 (1913) | 32202 | | | T02 試験及第、兵庫・美力郡浜坂町(開) | 兵庫美力郡浜坂町(開) | 兵庫美力郡浜坂町(開) | | |
| 27 徳本コト(改嘉子) | M29 (1896) | 山口 | | 日医 | T02 (1913) 07 | 32214 | 内見 皮花科 | | T02 試験及第、東大内見、T03 東京市養育院、三井養育病院(研)、神奈川済生会病院(勤) | 神奈川縣磯崎町(勤)、神奈川済生会病院(開) | S07 横浜市神奈川区(開) | 横浜市神奈川区東神奈川町(開) | 音楽 |
| 28 樋口あひ(あい) | M15 (1882) | 滋賀 | | 東女医 | T02 (1913) 07 | 32317 | | | T02 試験及第、滋賀県甲賀郡御宮村(開) | 滋賀県甲賀郡御宮村(開) | | | |
| 29 新納キクノ(キク) | | 山口 | | 東女医 | T02 (1913) 08 | 32475 | | | 山口県防府町三田尻病院(勤) | | | | |
| 30 妹射(吉永) マキ | M23 (1890) | 神奈川 | | 日医 | T02 (1913) 08 | 32513 | 文学士、 子供2名、 雇人(女 中)3名 | 産婦科 | 横浜市桜橋病院(産婦研) 東大兒科傍觀、T06 横浜市三春町(開)、T12 文藝院殉職死亡 | | | | |
| 31 梅垣あい | | 兵庫 | | 東医 | T02 (1913) 08 | 32514 | | | T02 試験及第、大阪市河野病院(勤)、大阪市北區玉川町(開) | 大阪市北區玉川町(開) | | | |
| 32 的場シヤウ | M12 (1879) | 京都 | | 東医(日医) | T02 (1913) 08 | 32535 | | 内見 産婦科 | 大阪済生会医院長兼任、T06 畿部町開業 | 京都府河内郡藤原町(開) | 京都府河内郡藤原町(開) | 京都府河内郡藤原町(開) | 謡曲、大鼓 |
| 33 高野みち | | 東京 | | 日医 | T02 (1913) 08 | 32562 | | | 京橋采女町福田医院(勤)、東大兒科外来傍觀生(研)、浜松市沢木兒科医院(勤) | S03 東京・在原郡駒沢村(開) | 東京・在原郡駒沢村(開) | 東京市世田谷区三軒茶屋 | |
| 34 片山(戸川) つね | M26 (1893) | 茨城 | | 東女医 | T02 (1913) 09 | 32601 | | 兒科 | 朝鮮總督府医院(勤)、T08 朝鮮で開業 | 朝鮮京城南山町(開) | 朝鮮京城南山町(開) | | |
| 35 吉岡(山崎) ふさ | M23 (1890) | 佐賀(兵庫) | | 東女医 | T02 (1913) 09 | 32626 | | 産婦科 | T02 試験及第、至誠病院(勤) | 茨城県衛生課 | 鳥取県衛生課 | 牛込区下宮比町 | |
| 36 吉村 操 | | 愛知 | | 日医 | T02 (1913) 09 | 32662 | | | 東京・浅草区済生会診療所(勤)、T05 本郷区駒込坂下町(開) | 本郷区駒込坂下町(開) | 本郷区駒込坂下町(開) | | |
| 37 高橋(橋本) てふ | M20 (1887) | 奈良 | | 日医 | T02 (1913) 09 | 32675 | | 内兒科 | T02 試験及第後、札幌市北八条西(開)、子安病院(勤) | 札幌市北八条西(開) | 札幌市北八条西(開) | | |
| 38 善見あい | M24 (1891) | 大阪(兵庫) | | 東女医 | T02 (1913) 10 | 32708 | | 眼科 | T02 試験及第、T03 東京至誠病院眼科(研)、当分見橋分院主任 | 大阪市西区山縣眼科病院(勤) | 山縣眼科醫院(勤) | 山縣眼科醫院(勤) | |
| 39 岡田ヨシエ | | 広島 | | 日医 | T02 (1913) 10 | 32717 | | | 東京順天堂医院(研)、神戸市中山手通島越病院(勤) | 不詳 | | | |
| 40 遠山(菅浦) タキ | M20 (1887) | 福岡(三重) | | 東女医 | T02 (1913) 10 | 32724 | 兒科、 産婦科 | | 東大産婦科・兒科(研)、育見会病院院、T09 朝鮮京城永楽町(開) | 朝鮮京城永楽町(開) | 朝鮮京城永楽町(開) | | |
| 41 田中やす | M18 (1885) | 愛知 | | 日医 | T02 (1913) 11 | 32781 | | 眼科 | T02 試験及第、三井病院眼科(研)、河本眼科醫院(勤)、T05 愛知県安城町(開) | 愛知県安城町(開) | 愛知県安城町(開) | 愛知県八開村小畑山病院(勤) | |
| 42 井上かめ | M18 (1885) | 福岡 | | 東女医 | T02 (1913) 11 | 32827 | | 内兒科 | T02 試験及第、東京至誠病院(2Y 研)、T04 久留米市立病院(勤)、T08 東京至誠病院・東大兒科・九大等(研)、T09 久留米市篠山町(開)、更に同市西替町移転(開) | 同市高替町(開) | 同市高替町(開) | 同市高替町(開) | 和歌 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------|-----------|---------|-----|----------|-----------------|-------|-----------|---|--------------|---------------|---------------|---------------|-----|
| 43 | 浜田(高井)まさ | M20(1887) | 広島(愛知) | 広島 | 日医 | T02(1913) 12 | 32961 | 総合医 | T02 試験及第, 母校夜校院(研), 小石川区西丸町(開), T05 愛知県下浜村(開), T05 安佐郡下黒瀬村移転(開) | 安佐郡下黒瀬村(開) | 安佐郡下黒瀬村(開) | 安佐郡下黒瀬村(開) | 広島県安佐郡下黒瀬村(開) | 説書 |
| 44 | 宮村(成井)芳野 | M23(1890) | 三重 | 三重 | 日医 | T02(1913) 12 | 33017 | | T02 試験及第 | | | | 神戸市長田町 宮村病院 | |
| 45 | 伊藤君子 | M20(1887) | 静岡(東京) | 静岡 | 官史 | T02(1913) 12 | 33106 | 婦科医, 子供6名 | T02 試験及第, 静岡市多々良産婦科病院, 香雲堂病院ニテ生化学・産婦科(研), T10 静岡市西草深町(開) | 静岡市西草深町(開) | 静岡市西草深町(開) | 静岡市西草深町(開) | 静岡市西草深町(開) | 説書 |
| 46 | 北村ため | M08(1875) | 三重 | 三重 | 済生, 日医 | T02(1913) 12 | 33108 | 内産婦科 | 京大内児科・京都佐伯産婦病院(大), T03 松阪町殿町(開) | 三重県松阪町(開) | 三重県松阪町(開) | 三重県松阪町(開) | 三重県松阪町(開) | |
| 47 | 佐藤(長岡)於香 | M25(1892) | 島根 | 島根 | 医師 | T02(1913) 12 | 33193 | 医師, 子供2名 | 大阪緒方病院, 神戸市島越病院, 救世軍病院, 京大児科等(研), T06 島根・平田町(開) | 島根県平田町(開) | 島根県平田町(開) | 島根県平田町(開) | 島根県平田町(開) | |
| 48 | 伊藤ユキ | | 大阪 | 大阪 | | T02(1913) 12 | 33196 | | | | | | | |
| 49 | 入佐穂子 | M22(1889) | 鹿児島 | 鹿児島 | | T03(1914) 01 | 33264 | 児科 | 東京至誠病院児科(研), T03 鹿児島市米井児科医院&京大児科(働), T11 鹿児島・西千石町(開) | 鹿児島市西千石町(開) | 鹿児島市加治屋町移転(改) | 鹿児島市加治屋町移転(改) | 鹿児島市加治屋町(開) | |
| 50 | 伊藤(藤井)りやち | M23(1890) | 三重(岐阜) | 三重 | T02 試験及第 | T03(1914) 01 | 33267 | | 済生会診療班(働) | | | | 三重県桑名郡城南村 | |
| 51 | 清水つね | | 滋賀 | 滋賀 | | T03(1914) 01 | 33277 | | T03 死亡(詳細不明) | | | | | |
| 52 | 古田(千代延)ムラ | M22(1889) | 島根 | 島根 | | T03(1914) 01 | 33362 | 総合医療 | T06 試験及第, 東京至誠病院(研), T06 島根県那賀郡川波村(開) | 島根県那賀郡川波村(開) | 島根県那賀郡川波村(開) | 島根県那賀郡川波村(開) | | |
| 53 | 豊田えち | | 茨城 | 茨城 | | T03(1914) 01 | 33470 | | 下谷区上車坂町(開?) | | | | 東京市荏原区小山町 | |
| 54 | 荒井梅子 | M19(1886) | 富山(石川) | 富山 | 東女医 | T03(1914) 02 | 33590 | 内産婦科 | 東京至誠病院婦科(研), 金沢病院内産婦科(働), T06 金沢市象眼町(開) | 金沢市象眼町(開) | 金沢市象眼町(開) | 金沢市象眼町(開) | 金沢市象眼町(開) | |
| 55 | 山水(藤倉)テイ | M19(1886) | 山形 | 山形 | | T03(1914) 02 | 33594 | 内産婦科 | T02 試験及第, T04 山形県十日町(開) | 山形県十日町(開) | 山形県十日町(開) | 山形県十日町(開) | | |
| 56 | 高橋アイ | M17(1884) | 新潟 | 新潟 | 東女医 | T03(1914) 03 | 33697 | 産婦科 | T05 試験及第, 東京肥天常医院産婦科(研), T06 新潟県高田市本町(開) | 新潟県高田市本町(開) | 新潟県高田市本町(開) | 新潟県高田市本町(開) | | |
| 57 | 木村キクエ | M24(1891) | 新潟 | 新潟 | T03 試験及第 | T03(1914) 03 | 33755 | | 滋賀県神崎軍山井病院(働) | | | | | |
| 58 | 高木いせの | M23(1890) | 三重 | 三重 | 東女医 | T03(1914) 04 | 33793 | 内産婦科 | 東大皮科・京大児科(研), 三重県玉頭村西尾病院内産(働), T04 三重県河芸郡一宮村(開) | 三重県河芸郡一宮村(開) | 三重県河芸郡一宮村(開) | 三重県河芸郡一宮村(開) | 三重県河芸郡一宮村(開) | 音楽 |
| 59 | 園田(村上)シヅ | M21(1888) | 栃木(鹿児島) | 栃木 | T03 試験及第 | T03(1914) 04 | 33852 | | 東京育見倉病院児科(研), T03 奈良県葛城郡葛城村(開) | 奈良県葛城郡葛城村(開) | 奈良県葛城郡葛城村(開) | 奈良県葛城郡葛城村(開) | 奈良県葛城郡葛城村(開) | 生け花 |
| 60 | 鶴山キミ | M21(1888) | 北海道 | 北海道 | | T03(1914) 04 | 33862 | 内産婦科 | T03 試験及第, 函館市鍛冶町(開) | 函館市鍛冶町(開) | 函館市鍛冶町(開) | 函館市鍛冶町(開) | | |
| 61 | 榎本(谷)シカノ | M19(1886) | 奈良 | 奈良 | 東女医 | T03(1914) 04 | 33863 | 内産婦科 | 東京育見倉病院児科(研), T03 奈良県葛城郡葛城村(開) | 奈良県葛城郡葛城村(開) | 奈良県葛城郡葛城村(開) | 奈良県葛城郡葛城村(開) | | |
| 62 | 岡田(黒瀬)ミスヨ | M21(1888) | 広島(新潟) | 広島 | 東医 | T03(1914) 04 | 33948 | 眼科 | 三井慈善病院(研), T03 若松市(開) | 新潟県若松市(開) | 新潟県若松市(開) | 新潟県若松市(開) | | |
| 63 | 板井タネノ | M23(1890) | 徳島 | 徳島 | 日医 | T03(1914) 05 | 33972 | 児科, 産婦科 | T03 試験及第, 大阪十肥病院児婦科(研), 同年撫養町(開) | 徳島県撫養町(開) | 徳島県撫養町(開) | 徳島県撫養町(開) | 徳島県撫養町(開) | 盆栽 |
| 64 | 土田(渡辺)スミ | M22(1889) | 新潟 | 新潟 | 東女医 | T03(1914) 05 | 33984 | 内産婦科 | T03 試験及第, 東京麹町区東洋内科医院(働), T03 三条市神明町(開) | 三条市神明町(開) | 三条市神明町(開) | 三条市神明町(開) | 新潟県三条市神明町(開) | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家系関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930) 年 | S10 (1935) 年 | S15 (1940) 年 | 趣味等 | |
|----------------|------------|---------|-------------|----------|------------------|-------|-----------|------|--|-------------------|---------------|---------------|---------------|--|
| 65 中村加祿 (かね) | | 滋賀 | | | T03 (1914) 05 | 34017 | | | 滋賀県膳所町在, T09 死去 (詳細不明) | | | | | |
| 66 吉村ヒサ | | 奈良 | | | T03 (1914) 05 | 34031 | | | 奈良県御所町 | | | | | |
| 67 尾前ミツイ | | 熊本 | | 日医 | T03 (1914) 05 | 34066 | | | | | | | | |
| 68 吾妻ヨシ | | 福島 | | | T03 (1914) 05 | 34087 | | | 神戸市旗塚通野間衛生病院 (勤) | | | | | |
| 69 村尾 (寺沢) しん | M24 (1891) | 福井 | | | T03 (1914) 05 | 34094 | | | T03 試験及第, 福井県敦賀町天満 (開) | | 福井県敦賀町天満 (開) | 大牟田市宝坂町 | | |
| 70 井上こう | M11 (1878) | 兵庫 (大坂) | | | T03 (1914) 06 | 34119 | | | T03 試験及第 | | | 大阪市南区笠屋町 | | |
| 71 森 (畑田) りう | | 高知 | | 日医 | T03 (1914) 06 | 34145 | | | 本所区亀沢町 (開) | | | 東京市淀橋区下落合 | | |
| 72 殿治きん | M23 (1890) | 兵庫 | | T03 試験及第 | T03 (1914) 06 | 34149 | | 眼児科 | 三井善善病院児科 (研) 後, T03 ~ 09 中国天津同仁病院 (勤), T10 兵庫東高砂町 (開) | 兵庫東加古郡高砂町 (開) | 兵庫東加古郡高砂町 (開) | 兵庫東加古郡高砂町 (開) | 音楽 | |
| 73 徳本 (福田) マスノ | | 奈良 | | | T03 (1914) 06 | 34150 | | | 横浜市神奈川神明町 (開) | | | 東京市麹町区富士見町 | | |
| 74 福島 (依田) まつの | M25 (1892) | 長野 (福岡) | 酒醸造業 (4人姉妹) | 東女医 | T03 (1914) 06 | 34167 | 実業家 | 産婦児科 | 東京至誠病院で全科 (研), その後, T05 よりビルマの総合病院 (勤) | ビルマの総合病院 (勤) | ビルマの総合病院 (勤) | 東京市杉並区天沼 | ゴルフ, 読書 | |
| 75 渡部菊代 | | 鳥取 | | | T03 (1914) 06 | 34193 | | | 茨城県土浦町佐藤医院, 鳥取市米子市 (開) | | | | | |
| 76 岡本むつ | M23 (1890) | 三重 | | 東女医 | T03 (1914) 06 | 34198 | | 内児科 | T05 ~ 08 名古屋市富田病院 (勤), その後三重村 (開?), T13 死亡 | | | | | |
| 77 上野孝子 | | 山梨 | | | T03 (1914) 06 | 34200 | | | T7 ~ 11 浜松市馬淵病院 (勤), T11/7 死去 (詳細不明) | | | | | |
| 78 渡邊千江 | | 神奈川 | | | T03 (1914) 06 | 34238 | | | | | | | | |
| 79 和田むめよ | | 兵庫 | | 東女医 | T03 (1914) 07 | 34280 | | | T04 試験及第, 東京美土代町 (開) | | | 東京市神田区司町 | 読書 | |
| 80 井関 (戸田) はつえ | | 愛知 (岡山) | | 日医 | T03 (1914) 07 | 34282 | 医師 (内科) | | T08 試験及第 | | | 甲府市二条通 | | |
| 81 志村 (渡辺) みよ | M25 (1892) | 新潟 (山梨) | | 東女医 | T03 (1914) 07 | 34340 | | | | | | | | |
| 82 所質 (松本) クラ | M21 (1888) | 大分 | | 日医 | T02 (1914) 07 | 34360 | | 産婦児科 | T03 試験及第, 後に北川村 (開) | | | | | |
| 83 梶 辰亥 | | 神奈川 | | 日医 | T03 (1914) 07 | 34375 | | 産婦科 | 日本橋吉田医院, 京都府北端病院, 枚方町保善院, 大阪精力病院等 (勤), 神奈川県へ転居, T10 産褥熱で死去 | | | | | |
| 84 富山しよ (正子) | M10 (1877) | 三重 | | 日医 | T03 (1914) 07 | 34398 | | 内科 | T03 試験及第, 三重県阿山郡上野町 (開) | 同郡福居町移転 (開?) | | 三重県阿山郡上野町 | | |
| 85 金子ふみ | M23 (1890) | 静岡 (福岡) | 医師 | 東女医 | T03 (1914) 07 | 34413 | 官吏, 子供4名 | 産婦科 | 県立佐野病院, 東京福田病院等で児科 (研), T06 福島市新町北 (開) | 福島市新町北 (開) | 福島市新町北 (開) | 三重県名賀郡阿保町 (開) | 読書, 旅行 | |
| 86 城 (久保) 薫 | M21 (1888) | 三重 | 医師 | 東女医 | T03 (1914) 07 | 34449 | | 眼科 | 東京至誠病院で眼科・産婦科・児科 (研), T05 三重県上野町 (開) | S05 三重県名賀郡阿保町 (開) | 三重県名賀郡阿保町 (開) | 三重県名賀郡阿保町 (開) | 書画, 盆栽, 骨董 | |
| 87 綾野はるの | | 京都 | | | T03 (1914) 08 | 34482 | | 産婦科 | 浜松市内田病院 (研), 京都府亀岡町 (開), T11 死去 | | | | | |
| 88 且みちよ | | 岡山 | | 日医 | T03 (1914) 08 | 34501 | | | 奉天城内滿鉄病院 (勤) | | | | 奉天大西門大信字街普生医院 | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家系関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930)年 | S10 (1935)年 | S15 (1940)年 | 趣味等 |
|---------------|------------|--------|---------|--------|------------------|-------|---|---------|---|--------------------|-------------|-----------------|---------|
| 113 尾形(小泉)ちか | M22 (1889) | 兵庫 | | 東女医 | T03 (1914) 12 | 35540 | 柳町区木澤病院(勤), T10 柳町(開) | 内児科 | 柳町(開) | 柳町(開) | 柳町(開) | 柳町(開) | 読書, 茶道 |
| 114 浜部於志賀 | | 鳥取 | | 日医 | T04 (1915) 01 | 35604 | 南葛飾郡小松川(開) | 内科, 児科 | | | | | 写真 |
| 115 上田 幸 | M25 (1892) | 徳島 | | | T04 (1915) 02 | 35658 | T04 試験及第, 大坂回生病院内見(研) | 内科, 児科 | S02 名古屋市朝田町(開) 移転(開) | 名古屋市朝田町(開) | | 名古屋市千草区田代町移転(開) | |
| 116 田辺(田中)かずみ | M28 (1895) | 愛知 | | 東女医 | T04 (1915) 02 | 35674 | 東京三井病院, 東大児科, 婦人共立育児会病院児科(研), T05 愛知県安城町(開) | 児科 | ヒルマメディカール(勤) | | | | |
| 117 望月(木村)ハル | | 東京 | | 日医 | T04 (1915) 02 | 35715 | 東京至誠病院産婦児科(研), T04 広島県高田郡北村(開) | 産婦科 | 東京至誠病院産婦児科(研), T04 広島県高田郡北村(開) | 広島県安佐郡鞆園村(開) 移転(開) | | | 生け花, 茶道 |
| 118 頼島(小田)雷子 | M25 (1892) | 広島 | | 東女医 | T04 (1915) 02 | 35717 | T04 来田留学(Chicago College of Medicine), T08 福岡, T09 柳町区(開) | 産婦科 | 東京・柳町区飯田町(開) | 東京・柳町区飯田町(開) | | | 写真, 読書 |
| 119 酒井弘子 | M25 (1892) | 茨城 | 小学校長 | 東女医 | T04 (1915) 03 | 35815 | T03 試験及第後, 名古屋市好生館病院・北研等(研), その後市内(開) | 内児科 | 茨城県(開?) | | | | |
| 120 栗原 和 | | 茨城 | | 日医 | T04 (1915) 03 | 35836 | T03 試験及第後, 名古屋市好生館病院・北研等(研), その後市内(開) | | 東大内児科(研), 東京・濱田病院産婦科(研) 後, 三重県飯高郡松阪町(開) | 三重県飯高郡松阪町(開) | | | |
| 121 笹尾玄尾 | M09 (1876) | 三重 | 医師(15代) | 済生, 日医 | T04 (1915) 03 | 35865 | 中学校教員, 養子4名 | 児科, 産婦科 | 三重県飯高郡松阪町(開) | 三重県飯高郡松阪町(開) | | | |
| 122 伊藤(宇佐美)登志 | M23 (1890) | 三重 | | 東女医 | T04 (1915) 03 | 35875 | T03 試験及第後, 名古屋市好生館病院・北研等(研), その後市内(開) | 内児科 | 名古屋市東区西魚町(開) | 名古屋市東区魚町(開) | | | |
| 123 高橋小春 | M24 (1891) | 長野 | | 東女医 | T04 (1915) 03 | 35883 | 救世軍病院(勤), T08 長野県弥津村(開) | 内児科 | 長野県小縣郡彌津村(開) | 長野県小縣郡弥津村(開) | | 長野県小縣郡称西町(開) | |
| 124 平野スロ | M19 (1886) | 栃木 | | 東女医 | T04 (1915) 03 | 35959 | T03 卒後, 渋谷(開), 東京市養育院(研) | 婦内児科 | 渋谷(開) | 渋谷(開) | | | |
| 125 大岩(市川)さかへ | M18 (1885) | 大阪(三重) | | 東女医 | T04 (1915) 03 | 35977 | 東京至誠病院(研), T05 南洋スラブヤ市川病院経営, T06 福岡後東京至誠病院(勤) | 内児科 | S05 三重県志摩郡鳥羽町(開) | 三重県志摩郡鳥羽町(開) | | | |
| 126 永田千代 | | 茨城 | | | T04 (1915) 03 | 35981 | | | | | | | |
| 127 柴田(坂本)千代鶴 | | 青森 | | 東女医 | T04 (1915) 03 | 36019 | 大連市播磨町大連慈善病院(勤) | | | | | | |
| 128 今西やえ | M18 (1885) | 兵庫 | | 日医 | T04 (1915) 03 | 36022 | 試験及第, 東京済生会病院内児科(研), 東京・下目黒(開) | | 東京・下目黒(開) | 東京・下目黒(開) | | 東京・下目黒(開) | 読書 |
| 129 飯田エイ | | 愛媛 | | 東医 | T04 (1915) 04 | 36081 | シンガポール・ヴィクトリア街中野医院(勤), T05 大阪市中心斎橋病院(勤) | | | | | | |
| 130 志水(小田)マサ | | 兵庫 | | | T04 (1915) 04 | 36101 | | | | | | | |
| 131 下山松枝 | M22 (1889) | 愛知 | | 東女医 | T04 (1915) 04 | 36184 | 試験及第, 東京至誠病院(勤) | 産婦内児科 | 東京至誠病院(勤) | 東京至誠病院(勤) | | | |
| 132 藤沼(佐藤)文栄 | M24 (1891) | 福島(栃木) | | | T04 (1915) 05 | 36286 | T04 試験及第 | | | | | | |
| 133 芳野せく | M21 (1888) | 広島 | | 東女医 | T04 (1915) 06 | 36304 | 東京和泉橋病院・広島中央病院(勤) | 内科 | 広島中央病院(勤) | 広島中央病院(勤) | | | |
| 134 関田マツ | M13 (1880) | 佐賀 | | 日医 | T04 (1915) 06 | 36378 | T04 試験及第 | | | | | | |
| 135 長谷たけの | M23 (1890) | 愛知 | | 東女医 | T04 (1915) 06 | 36390 | 東京至誠病院, 東大内科(研), T05 愛知県海部郡美和村(開) | 内児科 | 愛知県海部郡美和村(開) | 愛知県海部郡美和村(開) | | 愛知県海部郡美和村(開) | 生け花 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|------------|--------|-----|-----|---------------|-------|-------|---|--------------|--------------|--------------|
| 136 | 河野ムメノ | M19 (1886) | 広島 | 医師 | 日医 | T04 (1915) 06 | 36395 | 内児科 | 試験及第後に登録、東大児科(研)、引き続き三井慈善病院眼科(研)、T06 広島県安芸郡音戸町(研) | 広島県安芸郡音戸町(研) | 広島県安芸郡音戸町(研) | 園芸 |
| 137 | 小林イチエ | M19 (1886) | 栃木 | | | T04 (1915) 06 | 36422 | | T5~6 大坂砲兵工廠教習部(勤)、T07 死亡 | | | |
| 138 | 由村サト | | 山口 | | | T04 (1915) 07 | 36430 | | T04 試験及第後、緒方病院・東京齋藤小児科病院(研)、和歌山日高郡(研)、T10 神戸・元町(研) | 神戸・元町(研) | 神戸・元町(研) | |
| 139 | 前川ヤエ | M23 (1890) | 兵庫 | 日医 | 日医 | T04 (1915) 07 | 36458 | 産婦科 | T04 試験及第、T12 石町(研) | 東京・淀橋町(研) | 東京・淀橋町(研) | |
| 140 | 佐野(中島)十寸總 | M27 (1894) | 栃木 | 東女医 | 東女医 | T04 (1915) 07 | 36507 | 眼科、児科 | 東京・淀橋区角筥、同代々囃町(研) | 同代々囃町(研) | 同代々囃町(研) | |
| 141 | 瀧(鈴木)ふじ | | 静岡(香川) | | 日医 | T04 (1915) 07 | 36553 | | T05~看見会病院(勤)、T15 死亡(急性心不全) | | | |
| 142 | 佐藤治子 | M22 (1889) | 東京 | 日医 | 日医 | T04 (1915) 07 | 36613 | 医師 | | | | |
| 143 | 西村喜恵 | | 京都 | | | T04 (1915) 08 | 36668 | | | | | |
| 144 | 菅沼(日田)シズ | M26 (1893) | 島根 | 東女医 | 東女医 | T04 (1915) 08 | 36685 | 耳科 | 横浜市広瀬耳科医院(勤)、福岡市西新町(研) | 福岡市西新町(研) | 福岡市西新町(研) | |
| 145 | 岸本露子 | | 福岡 | | | T04 (1915) 08 | 36727 | | | | | |
| 146 | 阿部ハル | | 富山(茨城) | | | T04 (1915) 08 | 36779 | | | | | |
| 147 | 水野(円城寺)つる | M26 (1893) | 東京 | 東女医 | 東女医 | T04 (1915) 08 | 36780 | 内児科 | T04 試験及第、東大児科(研)、東京・花園児科医院・奥川児科医院(研)、T06 浅草区橋場(研)、浅草区婦人会保健部長 | 浅草区橋場(研) | 浅草区橋場(研) | 読書 |
| 148 | 早矢仕照子 | | 岐阜 | | 日医 | T04 (1915) 10 | 37146 | | | | | |
| 149 | 吉田文子 | M12 (1879) | 鳥取 | | 日医 | T04 (1915) 10 | 37147 | | T04 試験及第、三重県一志郡大井町(研) | 三重県大井町(研) | 三重県大井町(研) | |
| 150 | 佐藤(根岸)しづ | M23 (1890) | 埼玉(群馬) | | 東女医 | T04 (1915) 10 | 37202 | 産婦科 | T04 試験及第、東京至誠病院産婦科(研)、T07 東京・渋谷町中渋谷(研) | 東京・渋谷町中渋谷(研) | 東京・渋谷町中渋谷(研) | |
| 151 | 池野(五十嵐)壽賀 | | 福島(茨城) | | | T04 (1915) 10 | 37228 | | | | | |
| 152 | 田口あき(安起子?) | M08 (1875) | 東京 | | 日医 | T04 (1915) 11 | 37410 | 産児内科 | 東京鉄道病院(勤)、T05 本郷区試験及第、T05 本郷区湯島(研)、T12 神奈川・小田原町移転(研) | 神奈川・小田原町(研) | 神奈川・小田原町(研) | 旅行、生け花、音楽 |
| 153 | 山田せん | M20 (1887) | 長野 | 陶器商 | 東女医 | T04 (1915) 11 | 37416 | 婦身 | 東京至誠病院(研)、松本市飯田町(研) | 松本市飯田町(研) | 松本市飯田町(研) | 読書 |
| 154 | 青木(高橋)シゲ | M19 (1886) | 群馬 | | | T04 (1915) 11 | 37464 | | 浅草区小林胃腸病院(勤)、T05 銅ヶ沢町(研) | 群馬県銅ヶ沢町(研) | 群馬県銅ヶ沢町(研) | 読書 |
| 155 | 千原(田中)うえよ | M24 (1891) | 岐阜 | | 東女医 | T04 (1915) 11 | 37586 | 産婦科 | T04 試験及第、下谷区救世軍病院(勤) 次で小田原町小池耳科医院、名古屋市東区柴田産婦科病院、福岡市赤支那産婦科病院(勤)、T13 名古屋・大正町(研) | 名古屋・大正町(研) | 名古屋・大正町(研) | 読書、園芸 |
| 156 | 池田邦恵 | | 広島 | | | T04 (1915) 12 | 37621 | | | | | |
| 157 | 大原キミヨ | M23 (1890) | 広島(東京) | | 日医 | T04 (1915) 12 | 37630 | 内産婦科 | 東大内産婦(研)、三井慈善病院(勤)、T12 東京・下谷区上野町(研) | 東京・下谷区上野町(研) | 東京・下谷区上野町(研) | 音楽、テニス、旅行、茶道 |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家系関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930)年 | S10 (1935)年 | S15 (1940)年 | 趣味等 |
|------------------|------------|---------|-------|------|------------------|-------|-----------|--|------------------|-------------|-------------|--------------|--------------------|
| 158 奥田貞子△ | | 高知 | | | T04 (1915) 12 | 37646 | | | | | | | |
| 159 太田 (橋本) 未千代 | M23 (1890) | 神奈川 | | 日医 | T04 (1915) 12 | 37647 | | T04 試験及第 | | | | | |
| 160 六川きぬ | | 長野 | | | T04 (1915) 12 | 37758 | | | | | | | |
| 161 荒井 (小池) アサ | M13 (1880) | 福島 | | 日医 | T05 (1916) 01 | 37910 | | T04 試験及第, 大連藤病院 (勤) | 大連市吾妻町 (勤) | | | 大連市敷島町 (勤) | |
| 162 松村 (矢沢) イン | | 東京 | | 東女医 | T05 (1916) 02 | 38018 | | | | | | | |
| 163 宇治タカ | M16 (1883) | 和歌山 | | 試験及第 | T05 (1916) 03 | 38127 | | 大阪市九条眼科医院 (勤), T08 西成区西森町 (開), T07 奈良県五条町眼科医会開院? | 西成区西森町 (開) | | | 大阪市九条中通 (開?) | |
| 164 山口タネ (たね) | M24 (1891) | 佐賀 | | | T05 (1916) 03 | 38199 | | T05 試験及第 | | | | | |
| 165 里見ちよ子 | M26 (1893) | 岐阜 | | 東女医 | T05 (1916) 03 | 38234 | | T04 試験及第, 東京至誠病院眼科 (研), T07 本郷区曙町 (開), T14 兵庫・西宮移転 (開) | 兵庫県西宮市 (開) | | | 岐阜県真砂町 (開) | |
| 166 小野い・くよ | | 長野 | | | T05 (1916) 03 | 38247 | | | | | | | |
| 167 福住 節 | M21 (1888) | 長野 | | 東女医 | T05 (1916) 03 | 38252 | | 試験及第, 横濱市西戸部町森見科医院 (勤), T08 杉並区飯田町 (開) | S05 北葛飾郡太田分院 (勤) | | | 救世軍療養所 (勤) | 読書 |
| 168 藤沼なる | M09 (1876) | 茨城 | | 日医 | T05 (1916) 04 | 38311 | | T05 試験及第, T13 千駄ヶ谷町 (開) | | | | | |
| 169 越智トミヨ (とみよ) | M10 (1877) | 愛媛 | | 日医 | T05 (1916) 04 | 38315 | | T05 試験及第, 愛媛県上朝倉村 (開) | 愛媛県上朝倉村 (開) | | | 愛媛県上朝倉村 (開) | |
| 170 佐々木 (星台) ゆき子 | M27 (1894) | 徳島 (京都) | | 東女医 | T05 (1916) 05 | 38519 | | T05 試験合格, 藍揚浜徳島病院 (勤) | 京都市錦小路通 (開) | | | 京都市錦小路通 (開) | |
| 171 鈴木きやう | M26 (1893) | 静岡 | | 東女医 | T05 (1916) 05 | 38589 | | 東京至誠病院 (研), 大阪・難波病院 (勤), 静岡県中泉村 (開), T07 静岡県大谷村 移転 (開) | 静岡県大谷村 (開) | | | 静岡県大谷村 (開) | 読書 |
| 172 小山りん | | 長野 | | 東女医 | T05 (1916) 05 | 38591 | | 長野県秋津村, T09 死去 (詳細不明) | | | | | |
| 173 安井ハジメ | M16 (1883) | 熊本 | | 日医 | T05 (1916) 06 | 38861 | | T05 試験及第, 熊本市外坪井町 (開) | 熊本市外坪井町 (開) | | | 熊本市外坪井町 (開) | |
| 174 伊藤 (川並) 文子 | | 岐阜 | | 東女医 | T05 (1916) 06 | 38881 | | T05 神戸・加古胃腸病院, T12 死亡 | | | | | |
| 175 上山権子 | M17 (1884) | 鳥取 | 官吏 | 日医 | T05 (1916) 06 | 38926 | 医師, 子供2名 | T05 試験及第, 東大・東北大児科 (研), 仙台市北一番町 (開), T08 静岡県田方郡三島町移転 (開) | 静岡県三島町 (開) | | | 静岡県三島町 (開) | 読書, 英語, エッセイ, フォト語 |
| 176 二宮 (鶴島) まさ | M25 (1892) | 石川 | | 東女医 | T05 (1916) 06 | 38927 | | 東京至誠病院内科 (ZY 研), T11 神戸市中野産婦科病院 (勤) | S04 石川県新井宿 (開) | | | 石川県新井宿 (開) | 演劇 |
| 177 日沖ひな | M22 (1889) | 三重 | | 東女医 | T05 (1916) 06 | 39010 | | T05 試験及第, 博愛病院 (勤) | 大連市博愛病院 (勤) | | | 大連市博愛病院 (勤) | |
| 178 高橋静子 | M21 (1888) | 秋田 | | | T05 (1916) 06 | 39034 | | T05 試験及第, T07 大曲町 (開) | | | | | |
| 179 柴田 (芝田) フサ | M18 (1885) | 長崎 | | | T05 (1916) 06 | 39049 | 医師 (内科) | T05 試験及第, 四谷区井出医院 (勤), 築地海軍病院産婦科 (研), T05 東京・九段 (開) | 東京・九段 (開) | | | 東京・九段 (開) | 読書 |
| 180 長岡エツ | M22 (1889) | 大阪 | | 日医 | T05 (1916) 06 | 39050 | | T05 試験及第, 飯島婦科病院 (勤), T08 閉業 | 大阪・中河内郡大戸村 (開) | | | 奈良県生駒町 (勤) | 奈良県生駒町 (勤) |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------|------------|---------|----|--------|---------------|-------|--------------|--------|---|--------------------|-----------------|-----------------|
| 181 | 高橋(小中)はるえ | M26 (1893) | 広島 | 農業 | 東女医 | T05 (1916) 07 | 39077 | 夫職業？ 子供4名 | 産婦科 | T05→大阪二川病院(働)、T06神戸市大日通(働)、T13上羽病院を継承(内産婦科病院と改称) | 同市大日通(働)、熊内産婦科病院継続 | 神戸・熊内橋通(働) | 神戸・熊内橋通(働) |
| 182 | 細野(鈴木)壽美 | M17 (1884) | 千葉 | | 日医 | T05 (1916) 07 | 39159 | | 産婦兒科 | T05 試験及第、芝区前田病院産婦科(研)、T08 芝区(働)、T11 分院(働) | S03 千住宮元町移転(働) | 千住宮元町(働) | 千住宮元町(働) |
| 183 | 亀 スエ | | 京都 | | 東女医 | T05 (1916) 07 | 39160 | | | 東京・赤坂青山南町(働) | | | |
| 184 | 藤井カウ | M05 (1872) | 静岡(東京) | | 日医 | T05 (1916) 07 | 39163 | | | | | | |
| 185 | 安藤(小島)キヨジ | M26 (1893) | 山梨 | 医師 | 日医 | T05 (1916) 07 | 39240 | | 産婦科 | 順天堂医院婦科(働)、T07 八王子市(父と女とともに働) | 八王子・横山町(父とともに働) | 八王子・横山町(父とともに働) | 八王子・横山町(父とともに働) |
| 186 | 萬里小路 ヨシエ | M20 (1887) | 大阪 | | 関西西 | T05 (1916) 07 | 39299 | | 兒科 | T05 試験及第、大阪・島見科医院(働) | 大阪・島見科医院(働) | 大阪市南区日本橋(働) | 大阪市南区日本橋(働) |
| 187 | 原(根川)千代子 | M26 (1893) | 大阪(鹿兒島) | | 日医 | T05 (1916) 07 | 39314 | | 内兒科 | T05 試験及第、鹿兒島県島本病院(働)、T06 鹿兒島・枕崎町(働) | 鹿兒島・枕崎町(働) | 鹿兒島・枕崎町(働) | 大阪府吹田町(働) |
| 188 | 川村(名取)しやう | M29 (1896) | 東京(山梨) | | 日医 | T05 (1916) 07 | 39371 | 医師(内) | 内産婦科 | T05 試験及第、T06 東京麹町土手三番町(働) | 麹町土手三番町(働) | 麹町土手三番町(働) | 麹町土手三番町(働) |
| 189 | 田崎(倉田)ヲクミ | M29 (1896) | 広島(長崎) | | 日医、東女医 | T05 (1916) 08 | 39517 | | | | | | |
| 190 | 福島ミナ | M20 (1887) | 熊本 | | 日医、東女医 | T05 (1916) 08 | 39593 | | 内兒産婦科 | 日赤病院、浜田病院等(働)、T05 大阪・吹田町(働) | 大阪・吹田町(働) | 大阪・吹田町(働) | 大阪・吹田町(働) |
| 191 | 高木萬里△ | | 熊本 | | | T05 (1916) 08 | 39655 | | | | | | |
| 192 | 大熊瑞枝△ | | 埼玉 | | | T05 (1916) 08 | 39690 | | | | | | |
| 193 | 松浦タネ | M18 (1885) | 奈良 | | 東女医 | T05 (1916) 09 | 39715 | | | T05 試験及第、緒方産婦科病院(働)、T07 大阪曾根崎中(働)、司法審判所嘱託医 | 大阪・曾根崎中(働) | 大阪・曾根崎中(働) | 大阪・曾根崎中(働) |
| 194 | 渡辺(小沢)ミツ | M26 (1893) | 静岡 | | 東女医 | T05 (1916) 09 | 39719 | | | 浜松沢木病院、渡賀・神崎郡河並病院(働)、更に岐阜市松野産婦科病院(働)、T08 静岡岡崎周智郡森町(働) | 静岡岡崎周智郡森町(働) | 静岡岡崎周智郡森町(働) | 静岡岡崎周智郡森町(働) |
| 195 | 飯高てい | M21 (1888) | 千葉 | | 日医 | T05 (1916) 09 | 39740 | | 内兒婦科 | 本所区(働)、東洋びわび医院(働)、神奈川原(SY 働) | T10 浅草区田中町(働) | 浅草区田中町(働) | 浅草区田中町(働) |
| 196 | 田代 修 | | 東京 | | 東女医 | T05 (1916) 09 | 39745 | | | 東北医大病理学教室(研)、次いで同医大外科教室(働) | | | |
| 197 | 村上 雪 | M20 (1887) | 愛媛 | | 日医 | T05 (1916) 09 | 39874 | | 内外科 | T07 大坂実業病院(働) 後、大阪今宮町(働) | 大阪今宮町(働) | 大阪今宮町(働) | 大阪今宮町(働) |
| 198 | 日置ひで | M18 (1885) | 岐阜(大阪) | | 日医 | T05 (1916) 09 | 39881 | | | T05 試験及第 | | | |
| 199 | 沖中(三宅)しづゑ | | 兵庫 | | 東女医 | T05 (1916) 10 | 39913 | | | T02 試験及第、大阪緒方病院(研)、大阪御病院(働)、T03 姫路(夫と共に)働、T13 病で死亡 | | | |
| 200 | 今田(海玉)キヨ(貴代) | M26 (1893) | 千葉 | | 東女医 | T05 (1916) 10 | 39927 | | 内兒科 | T05 試験及第、福岡県(働) | S06 東京・志茂町(働) | 東京・志茂町(働) | 東京・志茂町(働) |
| 201 | 坂井ミサキ | M21 (1888) | 福岡 | 医師 | 東女医 | T05 (1916) 10 | 39942 | | 内兒婦科 | T05 試験及第、福岡県(働) | S02 大阪府国次町(働) | 大阪府国次町(働) | 大阪府国次町(働) |
| 202 | 辛島 篤 | M17 (1884) | 大分 | 医師 | 日医 | T05 (1916) 10 | 39979 | 婦科医、子供6名 | 兒科、産婦科 | 九大で実地研修、T09 大分開業、T14 死去 | | | |
| 203 | 伊藤(河口)タキ(たき) | M25 (1892) | 三重 | | 東女医 | T05 (1916) 10 | 39989 | | 産婦科 | 三重県宇治山田市宮後町(働) | 宇治山田市宮後町(働) | 宇治山田市宮後町(働) | 宇治山田市宮後町(働) |
| 204 | 赤坂美佐子 | M29 (1896) | 東京(和歌山) | 医師 | 東女医 | T05 (1916) 10 | 40039 | 両親ら一家全員被災 | 兒科 | T06→09 東大兒科(介補、研)、T10 父と共に(働)、関東大震災で被災死去 | | | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業 家族関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930)年 | S10 (1935)年 | S15 (1940)年 | 趣味等 |
|-----------------|------------|----------|-------|-----|------------------|-------|--------------|---|--|-------------------|-------------------|-------------------|---------|
| 205 山田 琴 | | 新潟 | | 東女医 | T05 (1916) 10 | 40086 | | 北海道 (開?) | | | | | |
| 206 小栗 元 | | 東京 | | 東女医 | T05 (1916) 10 | 40092 | | 麹町・神病院 (勤) | 麹町・神病院 (勤) | 麹町・神病院 (勤) | 麹町・神病院 (勤) | 麹町・神病院 (勤) | |
| 207 清水 (多田) 宇多 | | 岐阜 | | 東女医 | T05 (1916) 10 | 40129 | | 東京・豊多摩郡大久保百人町 (開) | 東京・豊多摩郡大久保百人町 (開) | 東京・豊多摩郡大久保百人町 (開) | 東京・豊多摩郡大久保百人町 (開) | 東京・豊多摩郡大久保百人町 (開) | |
| 208 小松美保 | M23 (1890) | 高知 (東京) | | 東女医 | T05 (1916) 11 | 40151 | | 卒後 東京・北豊島区高田町 (開) | 東京・北豊島区高田町 (開) | 東京・北豊島区高田町 (開) | 東京・北豊島区高田町 (開) | 東京・北豊島区高田町 (開) | 文芸 |
| 209 高橋 (青沼) 源 | | 静岡 | | 東女医 | T05 (1916) 11 | 40213 | | 静岡県・御殿場町 (開) | 静岡県・御殿場町 (開) | 静岡県・御殿場町 (開) | 静岡県・御殿場町 (開) | 静岡県・御殿場町 (開) | |
| 210 水原あい | | 兵庫 | | | T05 (1916) 11 | 40218 | | | | | | | |
| 211 朝田 和 | | 大阪 | | 東女医 | T05 (1916) 12 | 40293 | | 大阪府河内郡長瀬村 (開) | | | | | |
| 212 三浦浪江 | M24 (1891) | 滋賀 | | 東女医 | T05 (1916) 12 | 40323 | | 東京至誠病院 (研) 京都府藤山病院内児科 (勤), T08 滋賀県阪田郡大原村 (開) | 阪田郡大原村 (開) | 阪田郡大原村 (開) | 阪田郡大原村 (開) | 阪田郡大原村 (開) | 生け花、園芸 |
| 213 堀 (森) 知恵 | | 岐阜 | | 東女医 | T05 (1916) 12 | 40329 | | 岐阜県本巣郡本牧村 (開) | | | | | |
| 214 松野 (田中) 稲枝 | | 岐阜 | | 東女医 | T05 (1916) 12 | 40331 | | 岐阜県山県郡谷合村 (開) | 岐阜県山県郡谷合村 (開) | 岐阜県山県郡谷合村 (開) | 岐阜県山県郡谷合村 (開) | 岐阜県山県郡谷合村 (開) | |
| 215 和田静恵 | M20 (1887) | 静岡 | | | T06 (1917) 01 | 40369 | | T06 試験及第, T08 市野村 (開) | 横浜・神奈川区宮前 | | | | |
| 216 武田 (板倉) いくの | M13 (1880) | 千葉 | | 東女医 | T06 (1917) 01 | 40412 | | T06 茂原町鈴木病院 (勤), T09 茂原町 (開) | 千葉・長生郡茂原町 (開) | 千葉・長生郡茂原町 (開) | 千葉・長生郡茂原町 (開) | 千葉・長生郡茂原町 (開) | 読書 |
| 217 須藤 (角田) よつ | M22 (1889) | 三重 | | 東女医 | T06 (1917) 01 | 40433 | | 神戸市兵庫区科病院 (勤) 東京府衛生課細菌室・東京日本橋区宮方内科医院 (勤), 東京・東鴨町宮仲 (開) | 神戸市兵庫区科病院 (勤) 東京府衛生課細菌室・東京日本橋区宮方内科医院 (勤) | S02 大阪府藤田村 (開) | 大阪府藤田村 (開) | 大阪府藤田村 (開) | |
| 218 日野 (塩川) ヲヤ | M23 (1890) | 大阪 | | 東女医 | T06 (1917) 01 | 40434 | | 東京市施療病院内科・東京築地陸軍病院 (研), 明石市材木町 (開) | 東京市施療病院内科・東京築地陸軍病院 (研), 明石市材木町 (開) | 明石市材木町 (開) | 明石市材木町 (開) | 明石市材木町 (開) | |
| 219 高木 (岡田) 嘉津 | | 東京 | | 日医 | T06 (1917) 01 | 40436 | | | | | | | |
| 220 伊藤 (奥山) 直子 | M28 (1895) | 東京 (茨城) | | 東女医 | T06 (1917) 02 | 40521 | | 東京至誠病院 (研) 北海道札幌市岩下医院 (勤) | 東京至誠病院 (研) 北海道札幌市岩下医院 (勤) | S03 茨城県鹿島郡若松村 (開) | 茨城県鹿島郡若松村 (開) | 茨城県鹿島郡若松村 (開) | |
| 221 小林朝恵 | M13 (1880) | 長野 | | 日医 | T06 (1917) 02 | 40585 | | T05 試験及第, 東大国家医学会講習 (修), 東大内皮科 (研), 東京川村産婦科医院, 板垣医院, 天祐堂病院 (研) 後援天堂 (勤), T06 長野県水内村 (開) | 長野県水内村 (開) | 長野県水内村 (開) | 長野県水内村 (開) | 長野県水内村 (開) | |
| 222 戸田クニ | M23 (1890) | 群馬 | | 東女医 | T06 (1917) 03 | 40644 | | 東女医にて生化学 (研) | 東女医にて生化学 (研) | 生化学 (研) | 生化学 (研) | 生化学 (研) | 生化学 (研) |
| 223 古田 (村田) 栄 | | 鹿児島 (京都) | | 日医 | T06 (1917) 04 | 40717 | | 神戸市下山手通島越病院 (勤) | 神戸市下山手通島越病院 (勤) | | | | |
| 224 森本ます (ますの) | | 鳥取 | | | T06 (1917) 04 | 40726 | | | | | | | |
| 225 大島遊亀子 | | 東京 | | 東女医 | T06 (1917) 05 | 40749 | | T09 病ニテ死亡 | T09 病ニテ死亡 | | | | |
| 226 中井 (坂本) 幸子 | M28 (1895) | 岡山 | | 東女医 | T06 (1917) 05 | 40775 | | T06 試験及第, 大阪市南区難波九郎衛門町 (開) | T06 試験及第, 大阪市南区難波九郎衛門町 (開) | | | | |
| 227 栗山一枝 | M28 (1895) | 和歌山 | | 東女医 | T06 (1917) 05 | 40810 | | 和歌山県吹上寺 (開) | 和歌山県吹上寺 (開) | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------|------------|--------|-----|------------------|-------|------------|--|--|--------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--|--|--|--|--|------------|--|
| 228 | 野口 演 | | 香川 | 東女医 | T06 (1917) 05 | 40814 | | | 高松市五番町(開) | | | | | | | | | | | |
| 229 | 林(須貝) ユウ | | 新潟 | | T06 (1917) 05 | 40816 | | | | | | | | | | | | | | |
| 230 | 俵藤つたゑ | M28 (1895) | 三重 | 東女医 | T06 (1917) 05 | 40825 | 内児 産婦科 | | T06～08 富田浜・飯田病院産婦科(勤), T08～10 京大皮科産婦科(研), T10 三重県高津瀬村(開) | 三重県鈴鹿郡高津瀬村(開) | 三重県鈴鹿郡高須村(開) | 三重県鈴鹿郡高須村(開) | 三重県鈴鹿郡高須村(開) | | | | | | 舞踊, 読書 | |
| 231 | 坂元(詩斐) 八千代 | M28 (1895) | 福岡(東京) | 東女医 | T06 (1917) 05 | 40902 | 産婦科 胃腸科 | | 京都・佐伯病院産婦科・京大胃科(研), その後至誠病院・南病院・三井病院(研) | S02 東京・東鴨町(開) | 東京・東鴨町(開) | 東京・東鴨町(開) | 東京・東鴨町(開) | | | | | | 文芸, 裁縫, 料理 | |
| 232 | 鈴木かず江 | M21 (1888) | 奈良 | 東女医 | T06 (1917) 06 | 40957 | | | 岐阜県大垣町高木医院(勤) | | | | | | | | | | | |
| 233 | 沖田(川村) トヨノ | M23 (1890) | 新潟 | 東女医 | T06 (1917) 06 | 41055 | 内児 | | 大阪心齋橋病院, 東京本町東洋モスリオン社医局(勤), 北足立郡蒲川町(開) | S03 埼玉県吹上村移転(開) | 埼玉県吹上村(開) | 埼玉県吹上村(開) | 埼玉県吹上村(開) | | | | | | 生け花, 読書 | |
| 234 | 川島(広瀬) せつ | M26 (1893) | 静岡 | 東女医 | T06 (1917) 06 | 41093 | 産婦科 | | 大坂市御病院, その後弘中病院(勤) | | 弘中病院(勤) | 弘中病院(勤) | 弘中病院(勤) | | | | | | | |
| 235 | 徳弘(前田) 直喜 | | 高知 | 東女医 | T06 (1917) 07 | 41412 | | | 高知県吉川郡西分村(開) | | | | | | | | | | | |
| 236 | 澤本(安本) より | | 滋賀 | 東女医 | T06 (1917) 07 | 41478 | | | 東京・下高田町雑司ヶ谷(開) | | | | | | | | | | | |
| 237 | 草川 鎮 | | 三重 | 東女医 | T06 (1917) 07 | 41520 | | | 日本橋区矢ノ倉桜井病院(勤) | | | | | | | | | | | |
| 238 | 旦(土井) 薫 | | 熊本 | 東女医 | T06 (1917) 08 | 41615 | | | 熊本県鹿託郡蔵持村(開) | | | | | | | | | | | |
| 239 | 土倉 恒 | M23 (1890) | 岡山 | 日医 | T06 (1917) 08 | 41657 | 耳皮 内児科 | | 順天堂耳皮・濱田病院産婦・三井病院耳膚(研), T09 東京・荒木町(開) | | 東京・荒木町(開) | 東京・荒木町(開) | 東京・荒木町(開) | | | | | | | |
| 240 | 内藤満珠 | | 山口 | | T06 (1917) 08 | 41683 | | | | | | | | | | | | | | |
| 241 | 岡崎茂登恵(茂登江) | M20 (1887) | 岡山 | 東女医 | T06 (1917) 09 | 41710 | 産婦科 | | 東大産婦科(研), T07 商品川町(開) | 東京・南品川(開) | 南品川(開), S07 (1932) 05 死亡 | 南品川(開), S07 (1932) 05 死亡 | 南品川(開), S07 (1932) 05 死亡 | | | | | | 読書, 和歌 | |
| 242 | 繁田(芝田) まさへ | M20 (1887) | 兵庫 | 東女医 | T06 (1917) 09 | 41730 | 眼科 | | 大阪医大眼科(勤), T15 兵庫縣南浜町(開) | 兵庫縣南浜町(開) | 兵庫縣南浜町(開) | 兵庫縣南浜町(開) | 兵庫縣南浜町(開) | | | | | | 座談 | |
| 243 | 小名ヨシ | | 新潟 | 日医 | T06 (1917) 10 | 41820 | 児産婦科 | | T05 試験及第, 同年深川区東扇橋町(開) | 深川区東扇橋町(開) | 深川区東扇橋町(開) | 深川区東扇橋町(開) | 深川区東扇橋町(開) | | | | | | | |
| 244 | 宮田(倉田) ツル | M27 (1894) | 山口(福岡) | 東女医 | T06 (1917) 11 | 41845 | 医師 (児科) | | 東京至誠病院(研) | 東京至誠病院(研) | S03～09 白木医務室(勤) | 白木医務室(勤) | 白木医務室(勤) | | | | | | | |
| 245 | 小笹(増田) 八千代 | | 滋賀 | 東女医 | T06 (1917) 11 | 41855 | 内科 | | 神田小川町佐野内科病院(勤) | S03 目黒区向原町(開) | 目黒区向原町(開) | 目黒区向原町(開) | 目黒区向原町(開) | | | | | | 読書 | |
| 246 | 齋藤(川瀬) テイ | | 新潟(三重) | 東女医 | T06 (1917) 11 | 41872 | 婦児科 | | 東京・至誠病院産婦科(研), T11 品川区大井町(開) | 品川区大井町(開) | 品川区大井町(開) | 品川区大井町(開) | 品川区大井町(開) | | | | | | 園芸 | |
| 247 | 武田(小川) こと | M27 (1894) | 千葉(山形) | 東女医 | T06 (1917) 11 | 41877 | 眼科 | | 下谷区小川眼科病院(研), T10 千葉・東金町(開) | 千葉・東金町(開) | 千葉・東金町(開) | 千葉・東金町(開) | 千葉・東金町(開) | | | | | | | |
| 248 | 清水綾子 | | 滋賀 | 東女医 | T06 (1917) 12 | 41910 | | | 京都医科大児科(勤), T11 死亡(詳細不明) | | | | | | | | | | | |
| 249 | 奥寺(木村) タケ | | 神奈川 | 東女医 | T06 (1917) 12 | 41934 | | | T07 群馬県大間々町(開), T10 横濱市福富町転居(開), T12 関東大震災被災死去 | | | | | | | | | | | |
| 250 | 齋藤(天野) ヨシ(綾江) | M24 (1891) | 島根(福島) | 東女医 | T07 (1918) 01 | 41990 | 児科 | | 芝区済生会に出張, T10 福島県喜多方町(開) | 喜多方町(開) | 喜多方町(開) | 喜多方町(開) | 喜多方町(開) | | | | | | | |
| 251 | 磯部友子 | M28 (1895) | 静岡 | 東女医 | T07 (1918) 01 | 41991 | 産婦科 | | 東京至誠病院(研), 愛知病院婦科(研), T07 静岡県天土村(開), T14 浜名郡長上町(開) | 浜名郡天土村(開), T14 (開) | 浜名郡天土村(開) | 浜名郡天土村(開) | 浜名郡天土村(開) | | | | | | 音楽, 読書 | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業 家系関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930) 年 | S10 (1935) 年 | S15 (1940) 年 | 趣味等 |
|-----------------|------------|---------|-------|----------|------------------|-------|---------------------|---------|---|-------------------|------------------|----------------|-----------|
| 252 本郷 (三輪) チカエ | M30 (1897) | 福岡 | | 東女医 | T07 (1918) 01 | 42039 | | | T06 試験及第, 小倉市京町 (開) | 小倉市京町 (開) | 小倉市京町 (開) | 小倉市京町 (開) | |
| 253 大屋 (岡野) サダコ | M28 (1895) | 埼玉 | | 東女医 | T07 (1918) 01 | 42040 | | 兒科 | 東京至誠病院兒科 (勤), T07 北企郡大河村 (開), T12 九女児科 (研), 埼玉興隆谷町移転 (開) | 埼玉興隆谷町 (開) | 埼玉興隆谷町 (開) | 埼玉興隆谷町 (開) | 音楽 |
| 254 木口 (杏) フク | M27 (1894) | 鹿児島 | 医師 | 東女医 | T07 (1918) 01 | 42059 | | 内兒科, 皮科 | T07 警庁衛生部保健衛生調査部 (勤), T08 至誠病院臨床講義係, T11 分院主任 (勤), T12 牛込区市ヶ谷田町 (開) | 牛込区市ヶ谷田町 (開) | 牛込区市ヶ谷田町 (開) | 牛込区市ヶ谷田町 (開) | 音楽, 読書 |
| 255 佐藤キミ | | 香川 | | 東女医 | T07 (1918) 02 | 42131 | | | 牛込区 (?), 赤坂区 (?), T12 死亡 (開東大震災後?) | | | | |
| 256 西牧きみ代 | M27 (1894) | 長野 | | 東女医 | T07 (1918) 03 | 42159 | | 産婦科 | T06 試験及第, 長野県松本市 (開), 品川区大井移転 (開) | 品川区大井 (開) | 品川区大井 (開) | 品川区大井 (開) | |
| 257 森下 (浅井) 竹 | M29 (1896) | 長野 | | 東女医 | T07 (1918) 03 | 42195 | | 婦科 | 試験及第, T07 市ヶ谷柳町 (開) | 市ヶ谷柳町 (開) | 市ヶ谷柳町 (開) | 市ヶ谷柳町 (開) | |
| 258 林 ハナ | M26 (1893) | 愛知 | | 東女医 | T07 (1918) 04 | 42230 | | 皮兒科 | 東大兒科 (研) | S05 名古屋市本筒先町 (開) | 名古屋市本筒先町 (開) | 名古屋市本筒先町 (開) | |
| 259 河野タミ | M22 (1889) | 愛媛 | | 東女医 | T07 (1918) 04 | 42244 | | | 東大兒科 (研) | 今治市恵美須町 (開) | 今治市恵美須町 (開) | 今治市恵美須町 (開) | |
| 260 田中 (湖崎) 逸野 | | 島根 | | 東女医 | T07 (1918) 05 | 42291 | | | T06 試験及第, 東京・柏木聖書学院 | | | | |
| 261 吉田スエ | M29 (1896) | 徳島 | | 東女医 | T07 (1918) 05 | 42359 | | 内耳眼科 | 東京至誠病院耳眼科 (研), T07 草加町宮本病院内兒科 (勤), T09 徳島県阿部村 (開), T13 県衛生廳技師 | S02 徳島県勝浦郡小松島 (開) | 徳島県勝浦郡小松島 (開) | 徳島県勝浦郡小松島 (開) | |
| 262 野村 (齋藤) てる | M22 (1889) | 茨城 | | 東女医 | T07 (1918) 05 | 42360 | | 内科 | 東京順天堂医院内兒科 (2Y 研), 筑波郡葛城村 (開) | 筑波郡葛城村 (開) | S07 茨城県石岡町移転 (開) | S07 茨城県石岡町 (開) | 読書 |
| 263 湯浅 (鈴木) きよう | | 熊本 | | 東女医 | T07 (1918) 05 | 42370 | | 兒内 | T07 台北医院内科 (研), T10 熊本市春竹町 (開) | 熊本市春竹町 (開) | 熊本市春竹町 (開) | 熊本市春竹町 (開) | |
| 264 村江しき子 | | 鳥取 | | T06 試験及第 | T07 (1918) 05 | 42418 | | | 鳥取県八頭郡若櫻町 (開) | 鳥取県八頭郡若櫻町 (開) | 鳥取県八頭郡若櫻町 (開) | 鳥取県八頭郡若櫻町 (開) | |
| 265 櫻井 (足達) 若葉 | M27 (1894) | 山形 | | 東女医 | T07 (1918) 06 | 42513 | | 兒科 | T06 試験及第, 卒後, 東京・堀川病院, 東京大兒科 (研), T07 大山町 (開) | 山形県西田川郡大山町 (開) | 山形県西田川郡大山町 (開) | 山形県西田川郡大山町 (開) | |
| 266 山田 (金森) 鶴子 | | 香川 (千葉) | | 東女医 | T07 (1918) 06 | 42559 | | | 試験及第, 高松市内町 (開) | | | | |
| 267 狭間 (宮本) シヅ | | 福岡 | | 東女医 | T07 (1918) 06 | 42695 | | 眼科 | 試験及第, 小倉市立病院 (勤) | 小倉市立病院 (勤) | 小倉市立病院 (勤) | 小倉市立病院 (勤) | |
| 268 芳賀 (相馬) モリヨ | M23 (1890) | 宮城 | | 東女医 | T07 (1918) 06 | 42790 | | 眼科 | 宮城県名取郡岩沼町 (開) | 宮城県名取郡岩沼町 (開) | 宮城県名取郡岩沼町 (開) | 宮城県名取郡岩沼町 (開) | |
| 269 若林 (柳下) むめ | M28 (1895) | 静岡 (石川) | | 東女医 | T07 (1918) 06 | 42799 | | 兒科 | 試験及第, T07 東大兒科 (研) 後に婦人共立育児会病院兒科, 三井病院及友友, 北研講習修了後愛国婦人会産院 (勤) | 愛国婦人会産院 (勤) | 愛国婦人会産院 (勤) | 愛国婦人会産院 (勤) | |
| 270 土居 (倉橋) 鶴枝 | M29 (1896) | 愛知 (高知) | | 東女医 | T07 (1918) 06 | 42817 | | 内科 | 好生館病院 (勤), T14 名古屋・南岡町 (開) | 名古屋・西区南岡町 (開) | 名古屋・西区南岡町 (開) | 名古屋・西区南岡町 (開) | |
| 271 勝田 (田口) なみ | M24 (1891) | 福島 | 医師 | 東女医 | T07 (1918) 07 | 42875 | 医師, 子供7名 (内4名は姉の遺児) | 産婦科, 兒科 | T07 夫ととも台湾 (開) | 台湾嘉義市柴町 (開) | 台湾嘉義市柴町 (開) | 台湾嘉義市柴町 (開) | 読書, 料理, 芸 |
| 272 小西 (池田) 梢 | M29 (1896) | 香川 | | 東女医 | T07 (1918) 08 | 43050 | | 産婦科 | T07 試験及第, 大阪市西区緒方病院 (勤) | 大阪市緒方病院 (勤) | 大阪市緒方病院 (勤) | 大阪市緒方病院 (勤) | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|------------|--------|-----|--------------|-------|--------------------|---------|--|---------------------------|-----------------|-----------------|----------------------------------|
| 273 | 須知(野嶋)えい | M24 (1891) | 愛知 | 東女医 | T07 (1918)08 | 43073 | 医師(内科) 会社員、子供1名 | 児科 | T05 試験及第, 東京至誠病院内見科(3Y 研), T08 愛知県常滑町(開) | 愛知縣知多郡常滑町(開) | 愛知縣知多郡常滑町(開) | 愛知縣知多郡常滑町(開) | |
| 274 | 笹尾(渡辺)喜代 | M27 (1894) | 島根 | 東女医 | T07 (1918)09 | 43124 | | | 神戸・下山手・吉田病院, 東京・下中野・織本病院(勤) | 東京・麹町4番町(勤) | 東京・麹町4番町(勤) | 東京・麹町4番町(勤) | 書画 |
| 275 | 土橋駒江 | M27 (1894) | 和歌山 | 東女医 | T07 (1918)09 | 43161 | | 産婦児科 | T07 ~ 11 和歌山・山縣病院(勤), T11 和歌山・小松原通(開) | 和歌山・小松原通(開) | 和歌山・小松原通(開) | 和歌山・小松原通(開) | |
| 276 | 細川秀子 | M27 (1894) | 石川 | 東女医 | T07 (1918)09 | 43163 | 医師 | 産婦科 | 和泉病院婦科(研), T13 東京・宗政町(開) | 東京・宗政町(開) | 東京・宗政町(開) | 東京・宗政町(開) | |
| 277 | 河野ヤエ | | 富山 | 東女医 | T07 (1918)10 | 43211 | | | 富山市堅町(開) | | | | |
| 278 | 齋藤とく | M24 (1891) | 茨城 | 東女医 | T07 (1918)11 | 43227 | | | T07 試験及第, 茨城県龍野川町(開) | | | | |
| 279 | 武田 春 | | 北海道 | 東女医 | T07 (1918)11 | 43243 | | | 下谷区救世軍病院(勤) | 不詳 | 不詳 | 不詳(勤?) | |
| 280 | 鈴木ヒデ | | 新潟 | 東女医 | T07 (1918)11 | 43244 | | | 広島市船津町高丸病院(勤) | 広島市高丸病院(勤) | 広島市高丸病院(勤) | 広島市高丸病院(勤) | |
| 281 | 関 きよ(清子) | M30 (1897) | 宮城 | | T08 (1919)01 | 43309 | | 眼科 | T07 試験及第, T07 ~ 11 東北大眼科(勤), T11 仙台・元柳町(開) | 仙台市元柳町(開) | 仙台市元柳町(開) | 仙台市元柳町(開) | 文芸, 読書 |
| 282 | 高橋秀子 | M31 (1898) | 新潟(兵庫) | 東女医 | T08 (1919)01 | 43355 | | | T07 試験及第, 新潟市西堀前通(開) | 新潟市西堀前通(開) | 新潟市西堀前通(開) | 新潟市西堀前通(開) | |
| 283 | 大久保(辻)賤江 | M30 (1897) | 静岡(山梨) | 東女医 | T08 (1919)01 | 43356 | | | T07 試験及第, T09 浜松市(開) | 札幌市北二条東 | 朝鮮京城あさひ町 | 朝鮮京城あさひ町 | |
| 284 | 宗(片瀬)かん | M30 (1897) | 静岡(大分) | 東女医 | T08 (1919)01 | 43371 | 独身(キリスト教女子青年会) | 耳内科 | 四谷区多納病院, 日本橋区菊池病院等(勤), T14 中央区麻町(開) | S02 芝区新堀町移転(開) | S07 清水市仲町移転(開) | S07 清水市仲町(開) | 手芸, 読書 |
| 285 | 山川初子 | M30 (1897) | 大阪 | 東女医 | T08 (1919)01 | 43372 | | | T08 試験及第, 大阪市東区平野町(開) | 大阪市東区平野町(開) | 大阪市東区平野町(開) | 大阪市東区平野町(開) | |
| 286 | 美登路(渡部)ミサホ | M31 (1898) | 奈良(新潟) | 東女医 | T08 (1919)01 | 43373 | | 産婦児科 | T08 ~ 10 浅田児科病院(勤), T10 ~ 13 古川産婦科病院・三重県阿保町城医院(勤), T13 奈良県松山町(開) | S04 京都府醍醐村に移転(開) | 京都府醍醐村(開) | 京都府醍醐村(開) | |
| 287 | 梁矢千年 | | 大阪 | 東女医 | T08 (1919)01 | 43397 | | | 大阪市西区市岡町(開) | | | | |
| 288 | 吉田ココシ | M27 (1894) | 兵庫 | 東女医 | T08 (1919)01 | 43421 | | 産婦科 | 東京芝区田中病院(2Y 研), T09 大阪・北浜渡口医院産婦科(研), T13 兵庫県梅屋町(開) | 兵庫県梅屋町(開) | 兵庫県梅屋町(開) | 兵庫県梅屋町(開) | |
| 289 | 泥谷(平井)つや | M30 (1897) | 京都(大阪) | 東女医 | T08 (1919)01 | 43442 | | | T08 試験及第 | | | | |
| 290 | 山口ヒデ(ひで) | M28 (1895) | 鹿児島 | 東女医 | T08 (1919)01 | 43450 | 医師(内科) | 内児科 | 杉本胃腸科病院・神田駿河台藤川男科病院(T08 ~ 15 勤), T15 淀橋上落合(開) | 淀橋上落合(開) | S09 東京・鷹ノ宮移転(開) | S09 東京・鷹ノ宮移転(開) | 和歌 |
| 291 | 箱崎ギンヨ | M27 (1894) | 福島 | 東女医 | T08 (1919)01 | 43451 | | | 試験及第, 福島県石城郡内郷村(開) | 福島県石城郡内郷村(開) | 福島県石城郡内郷村(開) | 福島県石城郡内郷村(開) | |
| 292 | 末吉(森)せい | M30 (1897) | 奈良(長野) | 東女医 | T08 (1919)01 | 43452 | | 内児眼科 | 慶大内科・芝区赤羽済生会病院(研) | S02 麹町区医師会診療所(勤), 傍ら麹町(開) | S08 ~ 専ら麹町(研) | S08 ~ 専ら麹町(研) | 運動, 読書, 園芸, 草花栽培, 映画, 音楽, 読曲, 読書 |
| 293 | 黒田(堀)秀子 | M31 (1898) | 鳥取(兵庫) | 東女医 | T08 (1919)01 | 43460 | 医師, 子供2名 | 内児科, 皮科 | 京大産婦科(研), T10 兵庫県野町(開) | 兵庫県龍野町(開) | 兵庫県龍野町(開) | 兵庫県龍野町(開) | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家系関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930)年 | S10 (1935)年 | S15 (1940)年 | 趣味等 | |
|------------------|------------|---------|-------|-----|------------------|-------|-----------|------|---|---------------------------------------|----------------|----------------|-----------|-----------|
| 294 西川富野 | M30 (1897) | 兵庫 | | 東女医 | T08 (1919) 02 | 43501 | | 産婦兒科 | 伝研講習生、東大細国学教室(研)、T10 神戸・県立病院産婦(研)、T10~11 東京・和泉橋病院・東大産婦科(研)、東京三井病院・神戸山手病院産婦科(研)、T12 兵庫県(明) | 兵庫赤穂郡上郡町(明) | 兵庫赤穂郡上郡町(明) | 兵庫赤穂郡上郡町(明) | 音楽 | |
| 295 鈴木(佐治)みし | | 兵庫(岐阜) | | 東女医 | T08 (1919) 02 | 43503 | | | 宮崎県高鍋町(明) | 宮崎県高鍋町(明) | 宮崎県高鍋町(明) | | | |
| 296 三澤(金丸)みわ | | 宮崎 | | 東女医 | T08 (1919) 03 | 43537 | | | 宮崎県高鍋町(明) | 宮崎県高鍋町(明) | 宮崎県高鍋町(明) | | | |
| 297 高見光子 | M29 (1896) | 兵庫 | | 東女医 | T08 (1919) 03 | 43538 | | 内産婦科 | T08~12 大阪西区御産婦科病院(勤)、T12 兵庫赤穂郡上郡春日部村(明) | 兵庫赤穂郡上郡春日部村(明) | 兵庫赤穂郡上郡春日部村(明) | 兵庫赤穂郡上郡春日部村(明) | | |
| 298 齋藤(小川)信 | M31 (1898) | 新潟 | | 東女医 | T08 (1919) 03 | 43539 | | 眼科 | 新潟県北蒲原郡新発田町(明) | 新潟県北蒲原郡新発田町(明) | 新潟県北蒲原郡新発田町(明) | 新潟県北蒲原郡新発田町(明) | 読書 | |
| 299 町田美義 | | 長野 | | 東女医 | T08 (1919) 03 | 43553 | | | 東京府南豊島郡代々木(明) | 東京府南豊島郡代々木(明) | 東京府南豊島郡代々木(明) | 東京府南豊島郡代々木(明) | | |
| 300 赤木(山本)よし(ヨシ) | M29 (1896) | 鳥取 | | 東女医 | T08 (1919) 03 | 43557 | 医師 | 内科 | 大阪府新方病院(研)、奈良県五条町前助医院(勤)、大阪府西市区市岡町(明) | 大阪府西市区市岡町(明) | 大阪府西市区市岡町(明) | 大阪府西市区市岡町(明) | | |
| 301 木村(菅原)みのり | M27 (1894) | 宮城 | | 東女医 | T08 (1919) 03 | 43559 | | 内科 | 東京至誠病院内科(2Y 研)、下谷区救世軍病院(勤)、宮城県本吉郡志津川町(明)、T12 宮城県古川町(明) | 宮城県古川町(明) | 宮城県古川町(明) | 宮城県古川町(明) | 文芸、生け花 | |
| 302 坪井(金本)初音 | M27 (1894) | 広島(京都) | | 東女医 | T08 (1919) 03 | 43560 | 医師 | 内産婦科 | T07 試験及第、東京至誠病院(研)、次に飯大病院・緒方病院等(勤)、T11 大阪・天王寺区寺田町(明) | 大阪・天王寺区寺田町(明) | 大阪・天王寺区寺田町(明) | 大阪・天王寺区寺田町(明) | | |
| 303 馬場(石堂)ハル | | 鹿児島 | | 東女医 | T08 (1919) 04 | 43565 | | | | | | | | |
| 304 永井(村上)キヨノ | | 熊本 | | 東女医 | T08 (1919) 05 | 43671 | | | 熊本県天草郡島子村(明) | 熊本県天草郡島子村(明) | 熊本県天草郡島子村(明) | 熊本県天草郡島子村(明) | | |
| 305 宇田さかゑ | M29 (1896) | 愛知 | | 東女医 | T08 (1919) 05 | 43756 | | 産婦科 | 柳町神病院(研)、T11~12 京大病院(勤)、T12 岡崎市(明)、T14 京都府伏見市(明) | 京都府伏見市(明) | S06 愛知県蒲郡町(明) | 愛知県蒲郡町(明) | | |
| 306 高橋トク | | 愛媛 | | 東女医 | T08 (1919) 05 | 43780 | | | 東京・荏原郡平塚村(明) | 東京・荏原郡平塚村(明) | 東京・荏原郡平塚村(明) | 東京・荏原郡平塚村(明) | | |
| 307 榎谷(高橋)キクエ | M30 (1897) | 北海道(秋田) | 実業家 | 東女医 | T08 (1919) 06 | 43851 | 軍人、子供? | 眼科 | 静岡県吉原町富士病院(勤)、T10~15 千葉市仁山山立病院(勤) | T15~S03 九大眼科(研) | 千葉市吾妻町(明) | 千葉市吾妻町(勤) | 音楽、手芸 | |
| 308 山田俊文子 | M30 (1897) | 新潟 | | 東女医 | T08 (1919) 06 | 43956 | | | 試験及第、T08 西果町(明) | 岐阜・恵那郡下原田村(明) | 岐阜・恵那郡下原田村(明) | 岐阜・恵那郡下原田村(明) | 読書 | |
| 309 渡邊ジュン | M29 (1896) | 新潟 | | 東女医 | T08 (1919) 06 | 43989 | | 内兒科 | T08 試験及第、東京育見会病院(勤)、T13 新潟県南蒲原郡加茂町(明) | 新潟県南蒲原郡加茂町(明) | 新潟県南蒲原郡加茂町(明) | 新潟県南蒲原郡加茂町(明) | 読書 | |
| 310 津村(広瀬)シゲ | M20 (1887) | 福島(広島) | | 東女医 | T08 (1919) 06 | 44113 | | 産婦科 | 東京至誠病院(勤)、ビルマメヂイカルホテル(勤)、T12 福岡、広島県立病院(勤) | 和泉橋産婦科病院・神戸市坂本産婦科病院等(勤)、T15 浜松市中山町(明) | 広島県安佐郡寺西村(明) | 広島県安佐郡寺西村(明) | | |
| 311 石川(本多)ちよ | M31 (1898) | 静岡 | | 東女医 | T08 (1919) 06 | 44114 | 医師(産婦科) | 産婦科 | | | | 浜松市中山町(明) | 浜松市中山町(明) | 邦楽、三味線、読書 |
| 312 筒井(久保田)清志 | | 長野 | | 東女医 | T08 (1919) 06 | 44143 | | | 下谷区池の端七軒町(明) | | | | | |
| 313 鶴田みさを | | 長野 | | 東女医 | T08 (1919) 07 | 44305 | | | 長野県、T09 死亡(詳細不明) | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------|------------|---------|-----|------------------|-------|--------|---|----------------------|---------------|----------------|-------------|
| 314 | 田辺キク | M29 (1896) | 神奈川 | 東女医 | T08 (1919) 08 | 44460 | 内児科 | 東大産婦科(研)、川崎市尾久町佐藤病院(勤)、T09 川崎市小杉(開) | 川崎市小杉(開) | 川崎市小杉(開) | 川崎市小杉(開) | 生け花 |
| 315 | 土谷尾上 | | 栃木 | 東女医 | T08 (1919) 10 | 44594 | | 藤本県豊田村(開?)、T10 死去(詳細不明) | | | | |
| 316 | 哲翁たまよ | M21 (1888) | 長崎(岡山) | 東女医 | T08 (1919) 10 | 44623 | 医師(外科) | 東京至誠病院・東大病院産婦(研)、T10 長崎県口之津港(開) | 長崎県口之津港(開) | 長崎県口之津港(開) | 長崎県口之津港(開) | |
| 317 | 三好シゲノ | M25 (1892) | 香川 | 東女医 | T08 (1919) 10 | 44629 | 内科 | T08 武蔵及第、T14 帰郷、高松市栗林町(開) | 高松市栗林町(開) | 高松市栗林町(開) | 高松市栗林町(開) | |
| 318 | 池田隆子 | M30 (1897) | 愛媛 | 東女医 | T08 (1919) 11 | 44645 | | 試験及第、赤坂区赤坂病院(研)、下板谷・藤井医院(勤)、東京・下目黒(開) | 東京・下目黒(開) | 東京・下目黒(開) | 東京・下目黒(開) | |
| 319 | 佐藤昌子 | M30 (1897) | 岡山 | 東女医 | T08 (1919) 11 | 44646 | 眼科 | 岡山市島村眼科(勤) | 神戸市三菱病院眼科(勤) | 神戸市三菱病院眼科(勤) | S07 神戸・小野柄通(開) | |
| 320 | 松田(伊藤)うめ | M28 (1895) | 茨城 | 東女医 | T08 (1919) 11 | 44655 | 医師(内科) | 日本橋浜町産婦科病院(研)、大阪府東区福井産婦科病院(勤)、8 茨城県笠間町(開) | 茨城県笠間町(開) | 茨城県笠間町(開) | 茨城県笠間町(開) | 読書 |
| 321 | 佐々木待 | | 福井 | 東女医 | T08 (1919) 12 | 44698 | 総合医 | 京大皮科(研)、福井県今立郡栗田部村(開) | 福井県今立郡栗田部村(開) | 福井県今立郡栗田部村(開) | 福井県今立郡栗田部村(開) | |
| 322 | 斎藤(磯崎)ハルエ | | 大分 | 東女医 | T08 (1919) 12 | 44778 | | 大阪府三好医院(勤)、満洲遼陽城内修家内修家(開) | 満洲遼陽城内修家(開) | 満洲遼陽城内修家(開) | 満洲遼陽城内修家(開) | |
| 323 | 神戸(吉川)美和 | | 鹿児島(宮崎) | 東女医 | T08 (1919) 12 | 44779 | | 牛込区御町、大阪府豊能郡豊中村(開) | 大阪府豊能郡豊中村(開) | 大阪府豊能郡豊中村(開) | 大阪府豊能郡豊中村(開) | |
| 324 | 小田中とめ | | 兵庫 | 東女医 | T09 (1920) 01 | 44805 | | 山梨県立病院(研)、甲府市深田(開) | 甲府市深田(開) | 甲府市深田(開) | 甲府市深田(開) | |
| 325 | 藤田 栄 | M28 (1895) | 山梨 | 東女医 | T09 (1920) 01 | 44807 | 産婦科 | 大阪府大津町福井病院・堺市松高病院(研)、兵庫県武庫郡西郷町(開) | 兵庫縣武庫郡西郷町(開) | 兵庫縣武庫郡西郷町(開) | 兵庫縣武庫郡西郷町(開) | 音楽、長唄、演劇、読書 |
| 326 | 日吉(飯田)すゑ | M28 (1895) | 山口 | 東女医 | T09 (1920) 01 | 44808 | | 試験及第、陽春堂医院(勤) | 代々木山谷(勤) | 代々木山谷(勤) | 代々木山谷(勤) | |
| 327 | 土谷音羽 | M26 (1895) | 栃木 | 東女医 | T09 (1920) 01 | 44811 | | 姫路市下幸町、朝鮮龜山20師団司令部官舎(?) | | | | |
| 328 | 藤川(藤中)マチヨ | | 山口 | 東女医 | T09 (1920) 01 | 44828 | | 東女医学病理学(研)、T11~13 濱田病院(勤)、T13~東京至誠病院(勤) | 東京・南千住(勤) | 東京・南千住(勤) | 東京・南千住(勤) | |
| 329 | 柴田(池田)きみ | M32 (1899) | 茨城(山形) | 東女医 | T09 (1920) 02 | 44878 | 医師(外科) | 神田区佐野病院内科、和泉橋病院産婦科耳科(研)、下谷区高藤耳科病院(勤)、T14 千葉・東金町(開) | 千葉・東金町(開) | 千葉・東金町(開) | 千葉・東金町(開) | 音楽 |
| 330 | 長門静子 | M30 (1897) | 千葉 | 東女医 | T09 (1920) 02 | 44897 | 内児科 | 芝区大庭内児科医院、広島県立病産婦科(研)、T10 広島・江田島町(開)、T15 馬市阿賀野移転(開) | S04 賀茂郡三津口町(開)町移転(開) | 賀茂郡三津口町(開) | 賀茂郡三津口町(開) | 町医、小學校医、読書 |
| 331 | 富永静子 | M30 (1897) | 広島 | 東女医 | T09 (1920) 02 | 44920 | 内見外科 | 四谷区塩田児科医院(2Y 勤)、芝済生会病院内科(9Y 勤) | S02 東京・北沢町(開) | 東京・北沢町(開) | 東京・北沢町(9Y 勤) | |
| 332 | 岡野(長岡)政江 | M26 (1893) | 高知 | 東女医 | T09 (1920) 03 | 44956 | 内科 | T09~08 新宿奥平医院・三井病院二子内児科(研)、後日本橋藤爪病院二子伝染病(研)、T10 浅草区高原町(開) | 東京・浅草区高原町(開) | 東京・浅草区高原町(開) | 東京・浅草区高原町(開) | |
| 333 | 中山義子 | M30 (1897) | 埼玉 | 東女医 | T09 (1920) 03 | 45004 | 知身 | T09~10 至誠病院各科(研)、T10 東京・亀戸(開)、日本女医会評議員 | 東京・亀戸町大星医院(開) | 東京・亀戸町大星医院(開) | 東京・亀戸町大星医院(開) | 読書 |
| 334 | 田口(大星)フイ | | 新潟(静岡) | 東女医 | T09 (1920) 04 | 45014 | 産婦内児科 | | | | | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業 家系関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930) 年 | S10 (1935) 年 | S15 (1940) 年 | 趣味等 |
|-------------------------|------------|-------------|-------|-----|------------------|-------|--------------|-------------|--|---------------------|------------------------|------------------------|---|
| 335 井出 (真嗣) ひろ | M29 (1896) | 長野 | | 東女医 | T09 (1920) 04 | 45043 | 医師 | 産婦 内児科 | 東京至誠病院 (研)・T11 渡米、米 国医師試験合格、シアトル (SY 州) | 東京・新宿で (開) | 東京・新宿で (開) | 東京・新宿で (開) | 晩年は故 郷長野県 (開) H02 死亡、 享年 93 歳 |
| 336 井上 (本田) テル | | 秋田 (東京) | | 東女医 | T09 (1920) 04 | 45045 | | | 秋田県 (?) | | | | |
| 337 林ひさこ | M30 (1897) | 長野 | | 東女医 | T09 (1920) 04 | 45046 | | 児科 | 瀬川小児科病院 (勤) | 杉並区高円寺 (勤) | 杉並区上荻窪 (勤) | 杉並区上荻窪 (勤) | 生け花、 読書、園芸 |
| 338 見玉 (森本) ことゑ (琴枝) | M30 (1897) | 三重 (東京) | | 東女医 | T09 (1920) 04 | 45050 | | 眼科 | 東京至誠病院眼科 (研)、日本橋区 甲野眼科院 (勤)、東京府滝の川町 (開) | 東京府滝の川町 (開) | 杉並区阿佐ヶ谷移転 (開) | 杉並区阿佐ヶ谷 (開) | 音楽、読書 |
| 339 中根ツヤ | M30 (1897) | 広島 | | 東女医 | T09 (1920) 04 | 45077 | | | 本郷区春木町 (開?) | | | | |
| 340 酒井いり | | 埼玉 | | 東女医 | T09 (1920) 04 | 45079 | | | 岐阜県濃町郡湊町林病院 (勤) | | | | |
| 341 合田 (島田) きよ | M27 (1894) | 富山 (北海道) | | 東女医 | T09 (1920) 05 | 45088 | | 内児科 | 東京神田区尾方児科医院 (1Y 勤)、 T11 函館市新川町 (開)、その間函 館市中の橋病院 (1Y 勤) | 函館市新川町 (開) | 函館市新川町 (開) | 函館市新川町 (1Y 勤) | |
| 342 浅川あさ | M30 (1897) | 石川 | | 東女医 | T09 (1920) 05 | 45091 | | | 石川県能美郡小松寺町 (開) | | | | |
| 343 作野 (藤井) 美千代 | M28 (1895) | 鳥取 | | 東女医 | T09 (1920) 05 | 45110 | 医師 (外科) | 産婦児科 | T05 試験及第、大阪市高洲児科病 院 (1Y 勤) | 大阪市柳病院 (勤) | 大阪市柳病院 (勤) | 大阪市柳病院 (勤) | |
| 344 上村 (有田) 明子 | M30 (1897) | 鳥取 (鹿児島) | | 東女医 | T09 (1920) 05 | 45111 | | | 大阪府北区野田大野町 (開?) | | | | |
| 345 澤田志き (改清子) | M24 (1891) | 岐阜 | 農業 | 東女医 | T09 (1920) 05 | 45141 | | 内産婦科 | 東京至誠病院 (研)、京都泰山病 院、京都市山本病院 (勤)、T14 名 古屋市 (開) | | | | 写真 |
| 346 加藤きぬ | M32 (1899) | 愛知 | | 東女医 | T09 (1920) 05 | 45172 | 医師 (内科) | 児科 | T09~T11 浅草内田児科病院 (勤)、 東京府南葛飾郡寺島村 (開) | 東京府南葛飾郡寺島 町 (開) | 東京府南葛飾郡寺島 町 (開) | 東京府南葛飾郡寺島 町 (開) | 音楽、文芸 |
| 347 吉沢 (本田) サワ | M24 (1891) | 東京 | | 東女医 | T09 (1920) 05 | 45210 | | 児科 (総合医) | T09 至誠病院、T10 神田三井病院 児科、T11 生及伝道議会・現在府 社会課済生会 (勤) | 牛込区喜久井町 (勤) | 世田谷区代田 (勤) | 世田谷区代田 (勤) | |
| 348 陶守 (野川) 芳子 | M31 (1898) | 和歌山 (岡山) | | 東女医 | T09 (1920) 06 | 45314 | | 産婦科 | 大阪市都方産婦科病院 (研) | 大阪府豊能郡箕面病 院 | 豊能郡箕面病院 (勤) | 豊能郡箕面病院 (勤) | |
| 349 大西初美 | M28 (1895) | 高知 | | 東女医 | T09 (1920) 07 | 45618 | | 眼科 | 高知市武田病院眼科 (研)、T10 高 知市内 (開) | 高知県香美郡大柳町 移転 (開) | 大阪・西成区鶴見橋 安藤眼科院 (勤) | 大阪・西成区鶴見橋 安藤眼科院 (勤) | |
| 350 畑 (島田) きくゐ | M31 (1898) | 福井 | | 東女医 | T09 (1920) 07 | 45639 | | | T09 試験及第、大阪市外東天下茶 屋前 (開) | 大阪市外東天下茶屋 前 (開) | 大阪市外東天下茶屋 前 (開) | 大阪市外東天下茶屋 前 (開) | |
| 351 永田サト | | 愛知 | | 東女医 | T09 (1920) 07 | 45773 | | | | | | | |
| 352 磯野 (大野) アキ | M28 (1895) | 富山 | | 東女医 | T09 (1920) 07 | 45853 | | 眼科 | T09 日赤富山支部病院眼科 (勤) | 日赤富山支部病院 (勤) | 日赤富山支部病院 (勤) | 日赤富山支部病院 (勤) | |
| 353 平野 (上田) ワカ | | 愛媛 (兵庫) | | 東女医 | T09 (1920) 08 | 46017 | | | 牛込区通寺町前田医院 (勤)、東京 府幡ヶ谷 (開) | 東京府幡ヶ谷 (開) | 東京府幡ヶ谷 (開) | 東京府幡ヶ谷 (開) | |
| 354 弓削セツ | M24 (1891) | 宮崎 | | | T09 (1920) 09 | 46328 | | | T09 医師試験合格、宮崎県宮崎町 (開) | 宮崎県宮崎郡 (開) | 宮崎県宮崎郡 (開) | 宮崎県宮崎郡 (開) | |
| 355 遠藤 清 | M30 (1897) | 秋田 | | 東女医 | T09 (1920) 10 | 46362 | | | 牛込区若松町、東京府西大久保 病院 (研)、T10 東京・南千住町 (開) | | | | |
| 356 鈴木杉江 | M30 (1897) | 東京 | | 東女医 | T09 (1920) 10 | 46375 | | 内児科 | | 東京・南千住 (開) | 東京・南千住 (開) | 東京・南千住 (開) | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家族関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930)年 | S10 (1935)年 | S15 (1940)年 | 趣味等 |
|---------------|------------|-----|-------|------|------------------|-------|--|------|-----------------|----------------|----------------|----------------|--------|
| 383 早石道子 | M32 (1899) | 京都 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46577 | 岡山医大産婦科(研), 上京区加治病(勤) | 見産婦科 | 上京区加治病院(勤) | 上京区加治病院(勤) | 上京区加治病院(勤) | 上京区加治病院(勤) | |
| 384 田中エイ | M27 (1894) | 東京 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46579 | 東京・深川区田中眼科医院(開) | 眼科 | S04 東京・芝区(開) | 東京・芝区(開) | 東京・芝区(開) | 東京・芝区(開) | |
| 385 松山 君 | M29 (1896) | 石川 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46580 | 東京至誠病院・金沢医大産婦科(勤), 石川県(開) | 内産婦科 | 日本橋区茅場町(開) | 日本橋区茅場町(開) | 日本橋区茅場町(開) | 日本橋区茅場町(開) | |
| 386 川瀬イシ | M22 (1889) | 東京 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46581 | 東大整形(研), T10 日本橋区(開) | 整形外科 | S02 駿河台佐野内科(勤) | S08 牛込区通寺町(開) | S08 牛込区通寺町(開) | 牛込区通寺町(研) | 読書 |
| 387 弘基ひで | M31 (1898) | 東京 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46582 | 杏葉呼吸器科(勤), T12 東大細菌学(研) | 細菌学 | 愛知県豊谷(開) | 愛知県豊谷(開) | 愛知県豊谷(開) | 愛知県豊谷(開) | |
| 388 神谷龍子(りう) | M28 (1895) | 愛知 | 農業 | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46583 | 豊谷(開) | 産婦科 | 同内田眼科(勤) | S06 横浜市帷子町(勤) | S06 横浜市帷子町(勤) | 横浜市帷子町(勤) | |
| 389 渋谷フサ子 | M32 (1899) | 大阪 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46584 | 麹町区丸の内内田眼科(勤) | 眼科 | | | | | |
| 390 中川フミ | | 北海道 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46585 | | | | | | | |
| 391 金子(福田)クマ | | 佐賀 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46586 | 岩手県花巻川中小路 | | | | | | |
| 392 大森(喜多)静枝 | | 岡山 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46587 | 神戸市表掛町, 岡山市山出町 | | | | | | |
| 393 沢井(桑原)ジュキ | M25 (1892) | 熊本 | | 試験及第 | T10 (1921) 01 | 46588 | 豊高区高田本町 | 兒科 | | | | | |
| 394 水谷 直 | | 東京 | | 試験及第 | | 46589 | 京橋区中泉眼科(勤), 和泉橋病院眼科(勤) | 眼科 | | | | | |
| 395 細野つな | M30 (1897) | 兵庫 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46632 | 和泉橋病院(研), 神戸市中野婦科(研) | 産婦科 | S04 神戸・月見山本町(開) | 神戸・月見山本町(開) | 神戸・月見山本町(開) | 神戸・月見山本町(開) | |
| 396 横島千代 | M28 (1895) | 高知 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46633 | 東京至誠病院(研), 後廻町育児会病院・小松川町小池病院(勤) | | 神奈川県寒川村皆川病院(勤) | 神奈川県寒川村皆川病院(勤) | 神奈川県寒川村皆川病院(勤) | 神奈川県寒川村皆川病院(勤) | |
| 397 阿部チヲ | | 山口 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46634 | | | | | | | |
| 398 林 雪子 | M21 (1888) | 大阪 | | 東女医専 | T10 (1921) 01 | 46635 | 京都四条大宮病院産婦科(勤), T11 界市西湊(開) | 産婦科 | 界市西湊(開) | 界市西湊(開) | 界市西湊(開) | 界市西湊(開) | |
| 399 今関(芥川)さい | M28 (1895) | 静岡 | | 試験及第 | T10 (1921) 01 | 46636 | | | | | | | |
| 400 齋藤さく | M31 (1898) | 山形 | | 東女医専 | T10 (1921) 02 | 46653 | 小石川区神病院・中島病院(勤), T15 山形県東置賜郡小松町(開) | 見産婦科 | 山形県東置賜郡小松町(開) | 山形県東置賜郡小松町(開) | 山形県東置賜郡小松町(開) | 山形県東置賜郡小松町(開) | |
| 401 石田(豊口)サエエ | M29 (1896) | 秋田 | | 東女医専 | T10 (1921) 02 | 46654 | 神田・佐野病院(勤), 府社会経済生島(勤) | | | | | | |
| 402 佐伯ノフ(ノブ) | M23 (1890) | 広島 | | 東女医専 | T10 (1921) 02 | 46655 | T10 本郷区土井病院・東京市施療院・救世軍病院(勤), T12 大震災後広島県婦郷 | 産婦兒科 | S03 東京・板橋町(開) | 東京・板橋町(開) | 東京・板橋町(開) | 東京・板橋町(開) | 書画, 音楽 |
| 403 上森(辻村)フサ | M29 (1896) | 奈良 | | 試験及第 | T10 (1921) 02 | 46656 | 京大内科(研), T11 奈良県鏡ヶ崎片島病院(勤) | 産婦内科 | 奈良県鏡ヶ崎町(開) | 奈良県鏡ヶ崎町(開) | 奈良県鏡ヶ崎町(開) | 奈良県鏡ヶ崎町(開) | |
| 404 亀田菊代 | M20 (1887) | 石川 | | 試験及第 | T10 (1921) 02 | 46657 | 片島病院(勤), T12 石川県内(開) | 内兒科 | 深川区蘇江裏町診療所(勤) | 深川区蘇江裏町診療所(勤) | 深川区蘇江裏町診療所(勤) | 深川区蘇江裏町診療所(勤) | |
| 405 加藤あや | M32 (1899) | 三重 | | 東女医専 | T10 (1921) 02 | 46660 | 大阪今橋緒方病院・本通市近藤病院(勤), T12 三重・鈴鹿郡亀山町(開) | 内兒婦科 | 三重・鈴鹿郡亀山町(開) | 三重・鈴鹿郡亀山町(開) | 三重・鈴鹿郡亀山町(開) | 三重・鈴鹿郡亀山町(開) | |
| 406 西原ツボミ | M26 (1893) | 広島 | | 東女医専 | T10 (1921) 02 | 46678 | 東京至誠病院, T14 全生病院(勤) | 内科 | 全生病院(勤) | 全生病院(勤) | 全生病院(勤) | 全生病院(勤) | |
| 407 奥平記亥 | | 埼玉 | | 東女医専 | T10 (1921) 02 | 46679 | | | | | | | |

| 氏名 | 生年 | 本籍地 | 父親の職業 | 出身校 | 登録年月 | 登録番号 | 夫の職業・家族関係 | 専門分野 | 大正年間 | S05 (1930) 年 | S10 (1935) 年 | S15 (1940) 年 | 趣味等 |
|---------------|------------|-------------|-------|------|------------------|-------|------------|-----------|---|--------------------|---------------------|------------------|--------------------|
| 432 渡邊ユウ | M28 (1895) | 大分 | | 東女医専 | T10 (1921) 05 | 46937 | 医師 (軍医) | 耳見科 | 大分県立病院耳見科(勤) | 大連市信濃町(開) | 石油ソーズ(株) 合 同診療所長 | 奉天医科大耳科(研) | H01 死去 (享年93歳) |
| 433 村山まさゑ | M31 (1898) | 北海道 | 医師 | 東女医専 | T10 (1921) 05 | 46938 | 医師 | 内科 | 東京・至誠病院(勤) | 函館市小舟町(開) | 函館市小舟町(開) | 函館市小舟町(開) | 生け花, 音楽 |
| 434 多田(青木)せい | M32 (1899) | 千葉 | 農業 | 東女医専 | T10 (1921) 05 | 46954 | 医師 | 内見科 | 東京至誠病院・県千葉病院(研), T11安房郡千歳村(開) | 千葉・安房郡千歳村 (開) | 千葉・安房郡千歳村 (開) | 千葉・安房郡千歳村 (開) | 生け花, 読書 |
| 435 林 幸 | M30 (1897) | 千葉 | | 東女医専 | T10 (1921) 05 | 47058 | | 産婦見科 | 和泉橋病院(研), 東京・松竹病院 (勤), 湊町(開), T13安房郡環村 移転(開) | 千葉・君津郡環村 (開) | 千葉・君津郡環村 (開) | 千葉・君津郡環村 (開) | 音楽, 演 劇, 読書 |
| 436 神取ノブ | | 東京 | | 東女医専 | T10 (1921) 06 | 47166 | | | T11 富山県内(開) | | | | |
| 437 柳野(杉谷)友子 | M31 (1898) | 富山 | | 東女医専 | T10 (1921) 06 | 47451 | | 内見科 | | | | | |
| 438 工藤ツ子 | M29 (1896) | 北海道 | | 試験及第 | T10 (1921) 06 | 47506 | | 内見科 | 京橋区検本胃腸科(3Y 勤), T13 東 京・北豊島部長崎町(開) | 東京・北豊島郡長崎 南町(開) | S10 東京・下落合移 転(開) | 東京・下落合(開) | |
| 439 松井まつ | M21 (1888) | 栃木 | | 東女医専 | T10 (1921) 06 | 47565 | | 内見科 | 和泉橋病院内見科(研), T11 栃木 (開) | 東京・中野町(開) | 中野区本町通り(開) | 中野区本町通り(開) | |
| 440 河合(谷中)みつ | M28 (1895) | 岡山 | | 東女医専 | T10 (1921) 06 | 47566 | | 内科 | 検本胃腸病院・東洋内科医院 (研), T11 東京・駒沢村(開) | 東京・駒沢村(開) | 世田谷区三軒茶屋 (開) | 世田谷区三軒茶屋 (開) | 文芸, 花道 |
| 441 中川なか | M29 (1896) | 兵庫 | | 東女医専 | T10 (1921) 06 | 47664 | | 産婦科 | 至誠病院細菌学(研), 日赤病院産 婦科(勤), 神戸山手通・坂本産婦 科(勤), T14 兵庫県龍野町(開) | 兵庫県龍野町(開) | 兵庫県龍野町(開) | 兵庫県龍野町(開) | 読書 |
| 442 工藤シノブ | M31 (1898) | 岩手 | | 東女医専 | T10 (1921) 07 | 47719 | | 耳科 | 小石川・高橋耳科病院(勤) | 小石川区宮下町(勤) | 小石川区西丸町(勤) | 小石川区西丸町(勤) | 生け花, 音楽, 演劇 |
| 443 堀路豊恵 | | 和歌山 | | 東女医専 | T10 (1921) 07 | 47746 | | | | | | | |
| 444 片山 金 | M30 (1897) | 静岡 | 銀行家 | 東女医専 | T10 (1921) 08 | 47954 | | 耳科 | 和泉橋病院(1Y 研), 東大耳科 (3Y 研), T14 中野区打越町(開) | 中野区打越町(開) | 中野区打越町(開) | 中野区打越町(開) | 玩具収集, 演劇 |
| 445 稲垣 愛 | | 鳥取 | | 東女医専 | T10 (1921) 08 | 48063 | | | | | | | |
| 446 三谷ひさ | M31 (1898) | 大阪 | | 東女医専 | T10 (1921) 09 | 48124 | | | 東洋内科医院(勤) | 京城市大見科(勤) | 京城市大見科(勤) | 京城市大見科 | |
| 447 大井利子 | M31 (1898) | 北海道 (茨城) | | 東女医専 | T10 (1921) 09 | 48133 | | 内見科 | 八王子須崎医院, T13 日赤鳥取 (研), T13 兵庫県但馬郡豊岡町 (開) | 兵庫県豊岡町(開) | 兵庫県豊岡町(開) | 兵庫県豊岡町(開) | 読書, 音楽 |
| 448 北沢(桜井)あさを | | 長野 | | 試験及第 | T10 (1921) 09 | 48164 | | 内見 産婦科 | 東京・小石川区中富坂町 | | | 小石川区原町 | 婦人倶楽 部に育児 投稿 |
| 449 出田(沖野)梅壽 | | 北海道 (茨城) | | 試験及第 | T10 (1921) 10 | 48189 | | | | | | | |
| 450 長谷川くま | M26 (1893) | 三重 | | 東女医専 | T10 (1921) 10 | 48203 | | 内見 産婦科 | 日本橋区橋爪病院(勤), T11 三重 川島村(開) | 三重郡川島村(開) | 三重郡川島村(開) | 三重郡川島村(開) | |
| 451 佐々木ひでよ | | 静岡 | | 東女医専 | T10 (1921) 10 | 48204 | | | | | | | |
| 452 上田雅子 | | 滋賀 | | 東女医専 | T10 (1921) 11 | 48224 | | | | | | | |
| 453 小川イチ | | 鳥根 | | 試験及第 | T10 (1921) 12 | 48274 | | | | | | | |
| 454 小松フク | M33 (1900) | 埼玉 | | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48278 | | 産婦見科 | 東京・和泉橋病院(研), T13 ~ 15 北海道天塩美深病院(勤), T15 荏 原郡土目黒(開) | 東京・荏原郡土目黒 (開) | 東京・荏原郡土目黒 (開) | 東京・荏原郡土目黒 (開) | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|----|----|------|------------------|-------|--|-----|--------------------------------------|----------------|------------------------|----------------|
| 455 | 宮川(西村)庚子 | 東京 | 東京 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48285 | | 耳科 | 興多摩郡千駄ヶ谷町原宿, 東大耳科介輔 | | S06 東大より学位授与(女医として初めて) | |
| 456 | 金子夏恵 | 東京 | 東京 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48286 | | | | | | |
| 457 | 岩岡歎江 | 長野 | 長野 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48287 | | 内兒科 | 三井慈善病院・増田内科医院(研), T13 芝区松坂町・好成堂医院(開) | 芝区松坂町・好成堂医院(開) | 芝区松坂町・好成堂医院(開) | 芝区松坂町・好成堂医院(開) |
| 458 | 藤田彌香 | 岐阜 | 岐阜 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48288 | | | | | | |
| 459 | 染菱フサ | 大阪 | 大阪 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48289 | | | 大阪市西区鞆下通 | | | |
| 460 | 小林 貞 | 静岡 | 静岡 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48291 | | | | | | |
| 461 | 元木八千代 | 兵庫 | 兵庫 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48293 | | | | | | |
| 462 | 田代雪江 | 京都 | 京都 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48294 | | | 神奈川県葉山村(開) | 神奈川県葉山村(開) | 神奈川県葉山村(開) | |
| 463 | 堀口 要 | 千葉 | 千葉 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48295 | | | 神奈川県庁衛生課(勤) | 神奈川県庁衛生課(勤) | 神奈川県庁衛生課(勤) | 不詳 |
| 464 | 武田みどり | 石川 | 石川 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48296 | | | 石川県鹿兒島郡除善村(?) | 不詳 | 不詳 | |
| 465 | 後藤秀子 | 茨城 | 茨城 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48302 | | | 東京至誠病院(研) | 茨城県那珂郡上野村(開) | 茨城県那珂郡上野村(開) | |
| 466 | 杉本まつよ | 静岡 | 静岡 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48303 | | | 静岡県真玉村 | 静岡県三ヶ日町(開) | 岡崎市中野医院(勤) | 岡崎市中野医院(勤) |
| 467 | 日野俊子 | 大分 | 大分 | 東女医専 | T10 (1921) 12 | 48304 | | | 大分県速見郡日出村 | 大分県速見郡南山布村(開) | 大分県南山布村(開) | 大分県南山布村(開) |

註・参考文献

- 1) 三崎裕子. 明治女医の基礎資料. 日本医史学雑誌 2008; 54(3): 281-292
- 2) 福嶋正和. 岩手県金ヶ崎町(城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区)より輩出せる明治女医2名. 日本医史学雑誌 2010; 56(3): 415-426
- 3) 医術開業試験合格と医籍登録とはタイムラグが生じることは少なくない. 明治末期に当試験に合格し大正初期に医籍登録したものは大正女医と定義する. 一方, 大正末期に試験合格したものが昭和初期に医籍登録したものは大正女医とは定義しない. また, 試験合格しても医籍登録しない者も少数ながら存在した. 本論では試験合格時よりも医籍登録時から医療行為が法的に認められるため, 医籍登録時が表1に表示される.
- 4) 坪田五雄編. 日本女性の歴史. 大正女性群像. 東京: 暁教育図書; 昭和53年
大正時代に活躍した女性の中から平塚らいてふと伊藤野枝(デモクラシー運動), 松井須磨子(女優), 三浦環(オペラ), 羽仁もと子と鳩山春子(教育)等の生き様を紹介している.
- 5) 村上信彦. 大正期の職業婦人. 東京: ドメス出版; 1983. p. 267-281
本著には様々な職種に女性が進出し(農業婦人, 女工, 女中, 商業従事者, 女教員, 女髪結, 看護婦, 産婆, 電話交換手等々を職業婦人と一括), 数少ない精神労働者の一つとして女医を挙げ女医について記述している. 著者は次の3条件を備えているため女医は近代的職業であるとしている: すなわち, ①当事者が自己の意志でその職業についていること, ②自由意思をもち転業も廃業も自由であること, ③公私の別がはっきりしていること.
- 6) 大正期は1912~1926年に及ぶが, 明治女医の239名と比較して大正女医は急増し大正元年(1912)~同10年(1921)で475名と十分な調査対象数に達したため, 10年間に限定した. 但し, 女性の医籍登録数の推移(図1)については大正15年(1926)までカウントした.
- 7) 医制百年史(資料編). 厚生省医務局編. 東京: (株)ぎょうせい; 昭和51年. p. 572-577
- 8) 衛生局年報(昭和2年版). 内務省衛生局編. 東京: 昭和4年. p. 222
- 9) 日本女医50年史の付録として多川澄子によって調べられた「先輩女医名簿」(初代より女子医専指定以前)があり, 氏名, 本籍地, 出身校, 試験合格又は医籍登録年月等が記載されている. それらは官報の医籍登録と一部で一致しない部分もあるため, 照合して今回は官報の記載を優先した. 本論でも1)の三崎論文に倣ってこの名簿を「多川名簿」と称した.
- 10) 日本医籍録 東京: 医事時論社, 大正14年版, 同15年版, 昭和5年版, 同11年版
「日本医籍録」は大正13年から刊行を準備し, 大正14年が初版である. 「編輯に就いて一言」の「材料の収集に就いて」との記述の中で「材料は内務省衛生局原簿に準拠する予定であったが, 当原簿は本書の資料としての価値薄いため(中略)府県医師会々員名簿と対照し更に卒業学校名簿で欠点を補い, 正確を期し(中略)各都市医師会長に校正刷を送り云々」とある. 日本で初めての全国的な医籍録としての評価は高く, 本論を論考するに当たって大正15年版, 昭和5年版, 同11年版も併せて当医籍録を活用した.
- 11) 日本女医会雑誌. 大正14年10月; 25号25~98(日本女医の経歴 その一)
- 12) 日本女医会雑誌. 大正15年6月; 26号33~42(日本女医の経歴 その二)
11)および12)は日本女医会から会員宛に提出されたアンケート調査に対して会員から返答されたものである. アンケート項目には, 生年月日, 住所, 出生地, 生家の職業, 医学就業前経歴, 医学志望の動機, 医師になりたる年月日, その後の経歴, 医師としての活動状況, 家庭経営状況, 信仰, 趣味, 女医としての感想等がある. アンケートの回収率は低いが女医の人生観, 生き様を知るうえで示唆が得られた.
- 13) 東京女子医専となった大正9年以降, 同校を卒業し無試験で医籍登録された者は三崎裕子氏から得た情報では次の通りである(大正9年…93, 同10年…69, 同11年…111, 同12年…120, 同13年…106, 同14年…85, 同15年…97).
- 14) 芳賀登ほか(監修). 日本女性人名事典. 東京: 日本図書センター; 1993. P. 830
服部けさ子(明治17年~大正13年): 大正期のハンセン病救済活動をした医師. 福島県須賀川市(現・須賀川市)生まれ. 明治38年8月, 東京女医学校に入学. 在学中に教会に行き熱心な求道者となってハンセン病救済に生涯を捧げる決意を固める. 大正3年医師の資格を得たが, ハンセン病患者の施設も普及していなかった. そこで実地の研究のため医師の資格を捨てハンセン病患者の診療を行っていた三井慈善病院に看護婦として入る(著者注: 看護婦であれば受け入れられ, 医師であれば就職できなかった当時の女医が置かれていた社会的評価を垣間見ることができる). 同6年, 英国女性宣教師コーンウォール・リーが草津温泉に建設したハンセン病患者のための聖バルナバ医院の医師に迎えられる. そこで多忙な毎日を送るかたわら, 治療を受ける事のできない貧しい人々のために鈴蘭園の建設を思い立つ. 同13年10月, 粟生に建てた新医院(鈴蘭園)に移ったが, 直後に急死. 享年40歳(「日本医事新報」1469).
- 15) 最上二郎. ハンセン病と女医服部けさ. 東京: 歴史春秋社; 2004年. p. 102-109

- 16) 井出ひろ子. 押さえ難き歓び. 女医界 昭和4年2月1日および昭和4年3月1日; 第191号および第192号: 7-8および8-9
- 17) 近現代女性人名事典編集委員会(編). 近現代日本女性人名事典. 東京: ドメス出版; 2001. p. 34
井出ひろ (明治29年~平成2年): 三重県一志郡生まれ. 東京女子医学専門学校に進み, 大正7年卒業, 医師・井出欣一と結婚. 大正10年一子を義姉に託し, 渡米し米国の医師国家試験に合格(日本人女性として初めて)し, 夫と共にシアトルで5年間開業. その後ペンシルバニア大学で研究生活を送る. 昭和6年ひろは東北大へ, 夫は翌年東大へ博士論文を提出, 学位を取得し, ひろは女性2人目の医学博士となる. おしどり夫婦博士として話題を呼んだ. 昭和10年帰国後東京・新宿で開業, 晩年は長野県佐久市で開業. 享年93歳
- 18) 朝日新聞 1997年11月22日朝刊 佐賀地域版「大橋記念図書館 リュフ博士の遺志脈々と(肥前色かたち)」
故・リュフ博士が生前に故郷・佐賀県太良町に「教育振興の資金に」と寄付した一億円を基に町が大橋記念図書館(約4万冊所蔵)を建て町民に愛されて利用されていることを報じている.
- 19) 吉岡弥生. 読売新聞. 大正8年10月22日(水)「よみうり婦人欄」より
- 20) 松本佳子. 大正・昭和初期における女性医師の生活. 民族と風俗 2007; 17号: 94-107
本論では, 大正・昭和初期における女性医師(主として東女医専卒業生に焦点を当てて)の生活について調査し, 総括的に評価している.
①女医の月収: 70~100円程度であり, T05の公務員の初任給75円と比較してそれ以上の収入があったといえる. また他の女性の仕事がT13の調査でタイピストが40円, 店員が33円程度であったのと比較すると女性としては経済的に恵まれていた.
②女医としての就業状況: 開業, 病院等勤務, 研究者等が主たるものであるが, 女医の大抵は最終的には開業を選択している. 開業医の生活パターンは午前中はクリニックでの診療, 午後は往診か校医の任務(社会的任務), 夜間往診(特に内科, 産婦人科, 小児科等)も多々あり一女医としては厳しい生活パターンを余儀なくされる.
- 21) 災害教訓の継承に関する専門調査会報告書. 1923 関東大震災. 平成18年7月
- 22) 日本女医会雑誌. 大正13年6月(関東大震災特別号)21号: 本会員中災害死者の略歴 附遭難当時の状況 p. 10-12

Tendencies of Woman Doctors Registered in Japan during the Taisho Era

Masakazu FUKUSHIMA¹⁾ and Keiko FUJITA²⁾

¹⁾Tokatsu Medical & Welfare Center

²⁾Fujita Clinic

The Taisho-Era (1912 to 1926) was a period during which Japanese women increasingly took part in various social activities and employment. The author surveyed the registered woman-doctors listed in the official gazette and the journal of the Japanese Society of Woman Doctors from the first to the 10th years of the Taisho-Era (1912 to 1921) and investigated their medical life-times, including with regard to their husbands and family surroundings, hobbies, and so on. According to the author, there were 467 woman doctors during the first 10 years of the Taisho-Era, far more than the 239 during the Meiji-Era (1886 to 1912). Immediately after medical registration they had a tendency to choose employment in large cities such as Tokyo because there were many medical facilities suitable for clinical training there. After several years of this training, some of them moved their activities to the countryside. The 1923 Great Kanto Earthquake caused tremendous damage to people, including the woman doctors, who were affected by the collapse of buildings and fires (this subject is developed in a separate paper).

Key words: woman doctors, official gazette, *Journal of Japanese Society of Woman Doctors*, medical registration, 1923 Great Kanto Earthquake